

## 令和3年度第5回袖ヶ浦市公民館運営審議会

1 開催日時 令和3年3月

2 開催場所 書面会議

3 出席委員

委員長	稲毛 博夫	委員	早川 敦
副委員長	大野 俊江	委員	片寄 礼子
副委員長	齋藤 隆彦	委員	山田 まち子
委員	庄司 光利	委員	篠原 和行
委員	代田 雅文	委員	前田 元子
委員	田中 輝博	委員	石井 喜三江

4 報告

(1) 令和4年袖ヶ浦市成人式の実施結果について

5 議題

(1) 令和3年度市民会館・公民館事業の成果と課題について

(2) 令和4年度市民会館・公民館経営方針及び重点施策（案）について

6 議事

### 報告（1）令和4年袖ヶ浦市成人式の実施結果に対する意見

#### 稲毛委員長

各地区とも昨年青少年相談員より提供いただいた撮影用パネルが今年も活用され感謝しておりますので、引き続きパネルを大事にしていきたいと思えます。

受付時また終わった後に密になっていた事があったとの事ですが、これからの事ですので考えて行かなければいけないと思えます。

#### 大野副委員長

今年はなにより実施できた事に感謝です。

### 齋藤副委員長

何よりも式が開催されたことが大変良かった。スタッフの皆さんありがとうございました。

### 庄司委員

長浦地区の成人式に出席させていただきありがとうございました。感染症対策等に配慮されており、主催者の苦労がうかがえました。特に長浦地区・蔵波地区の2会場の準備、運営、撤収と職員の負担がかなり大きいと感じました。臨海スポーツセンター等の利用などの検討が必要かと思います。

### 代田委員

長浦地区と蔵波地区は母校での実施となったが、午前と午後の2会場での開催で、長浦公民館職員、実行委員の負担が多いなど難点がある。

広い1会場（例えば臨海スポーツセンター）での実施を検討しては。

### 早川委員

特に意見等はございません。

### 片寄委員

各会場共に、コロナ禍のなか、厳粛な中にも和やかで華やかな雰囲気での成人式が実施できたこと、職員の皆様、関係者の皆様に感謝いたします。

改善事項として、各館からも出されていましたが、受付時の混雑を解消し、いかにスムーズに会場へ誘導するかが、課題と思います。受付を担当させていただきました実感しました。

### 山田委員

会場を変更しながらも開催されたことはよかった。青少年相談員からのパネルやスライドショー、ビデオレターなどの実施はこれからも続けられたらと思う。

### 篠原委員

コロナ禍の中ではありながら、今年実施できたのは公民館職員(教育委員会)や実行委員の皆様のおかげです。これは成人式を迎えた皆さんにとって本当によかったと思いますし、新たなスタートの機会になったと思います。

撮影用のパネルの設置はよかった。今後も継続を。(例えば、パネルの一部に公民館サークルの人、新成人等に絵を描いてもらい貼るなどいいのでは。)

### 前田委員

コロナ禍での開催は、実行委員にとっては苦労が多かったと思う。でも「集まる」ことが難しい時期に、「集まる」こと「つながる」ことの意義を再認識するよい機会になった。地域の仲間がつながり、混乱した世の中でも負けないで頑張ろうと思えたのではないだろうか。新成人のみならず、式典参列者の気持ちも温かくなった。

### 石井委員

スタッフの負担は、どこもかなりあったようですが、このコロナ禍において式典ができた事は、とても意義のある事でした。新成人の地域への感謝と成人としての自覚に強くつながっていくものと確信します。

## 議題（１）令和３年度市民会館・公民館事業の成果と課題に対する意見

### 稲毛委員長

乳幼児家庭学級については保護者同士の会話の機会が少ないので時間が取れる様にしてほしいと思う。また、市民会館では袖ヶ浦駅前の人から乳幼児が増えてくる見込みがあるので係を多くする事が必要であると思う。

公民館まつりが中止という事になり代替行事を行う事になった事が市民に伝わりにくかったので、もう少し考える必要がほしかった。

### 大野副委員長

- ・市民会館・公民館・各館で乳幼児家教は違うテーマでの取り組みをした事の評価が大きいです。
- ・親業訓練の講師が次年度家教に来ていただくとの事、期待したい。
- ・市内文化団体の活動成果の発表の場、その機会を絶やさぬ様、模索して欲しいです。
- ・平川のロビーワークでの人脈や長浦の講座生が事業にスタッフとして参加するなど新たなつながりに期待します。

### 齋藤副委員長

コロナ禍での事業の開催運営は大変御苦労されたことと思います。お疲れ様でした。

保護者への周知は、PTA会報や各種会議（PTA各委員会）などを活用して広報してもよいのではないのでしょうか。

事業の取組の中で、公民館サークルとの活動は有意義であったと思います。

### 庄司委員

各館とも工夫をこらした講座を実施されており、素晴らしいと思います。地域デビュー講座から地区住民会議の会員となった例や、ねこまる参加者から運営側へなど地道な活動がひろがっていると感じます。講座等の周知に力を入れるなど、次年度以降もよりよい講座にしてほしいと感じました。

### 代田委員

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で中止又は変更となった事業も多いがやむを得ない。新型コロナウイルスが一日も早く収束するのを願うばかりです。

## 田中委員

新たに地域人材育成講座をスタートさせた。従前の各講座では、受講者による自主的な学習活動が展開できなかつたとの反省からとの理由であった。これについて原因究明を深堀し、対策を講じて講座の開始となったと思われるが、その点の説明が不足しているようである。後日の審議会で、資料で説明いただきたい。

## 早川委員

特に意見等はございません。

## 片寄委員

コロナ禍において5館それぞれが、対面以外でも人と人とのつながりを実感できるような学び方の工夫が模索され、着々と実行されています。高齢者をはじめ市民にとって、気楽に参加できるオンラインの講座が増えていけばと思います。

### \* 市民会館

「親業訓練入門講座」は、参加者アンケートの結果、講座内容等が参加者(0歳から高校生の子を持つ保護者)の希望に添えないことが判明したので、来年度の講座は実施しないとあります。

講座を継続するためには、費用対効果からみれば受講生を増やすことが必要ですが、対象年齢が広いと、講座のテーマが絞りにくくなるという矛盾点があります。

講座を実施しないとしたことは、理解できます。講座にかかる費用も、公民館事業としては高額だったと思いますので、中止の判断は、もう少し早くても良かったのではないかと思います。

今後、家庭教育総合推進事業の枠組みにとらわれず、成人教育推進事業として、高校生以上の親に対して、単発講座等で学習の機会が提供できればと思います。

### \* 平川公民館

単発講座であった「初心者・シニア向けスマートフォン教室」が、来年度から一つの講座としてスタートするとあります。今後、オンライン講座に積極的に参加できる知識が身につくような講座になればと思います。

「女性セミナー」からの移行となるのでしょうか？

### \* 長浦公民館

「子育てパパ応援講座」は、父親の子育てに関する関心度が高いことがわかり、講座の需要度は高いと思われます。希望者がもれなく受講できるよう、ご配慮願います。

「地域デビュー講座」の受講者の中から、地区住民会議の会員となった方がいるとのこと、地域デビューへの道筋をつけるため、着実に受講者を増やし、地域活動へと導いていただきたい。

#### \* 根形公民館

ねがたオープンキャンパス(ねこまろ)は、8月の中止にも関わらず、10月に「ねこまろハロウィン……」、12月に「ねこまろ in ウィンター」が実施され、若者、地域の皆さん、公民館スタッフの皆さんの熱意とパワーを感じました。袖ヶ浦高校在籍中の若者が「参加者から運営側へ」移行する日も近いのではと思います。

公民館まつりの代替行事として「サークル等発表会」が開かれました。公民館まつりが中止ということは、サークル等発表会も中止と受け止めていたもので、実施に至るまでの経過が気になります。

#### \* 平岡公民館

「わくわく女性倶楽部」は、平岡公民館初のオンラインによる講座で、予定していた期日に確実に実施できたとのこと、オンライン講座のメリットを実感します。

#### 山田委員

コロナ禍に事業内容はあまり変わっていないようだが工夫しながらもやはり縮小している。公民館と市民とを結ぶコミュニケーションの場としては残念です。この時期だからこそSNSや動画視聴、ネットの件を取り上げた事はよい方向だと思います。

#### 篠原委員

コロナ禍の中で、様々なアイデア・企画等を駆使し事業を展開してきたことに敬意を表します。今後とも誰でもが何時でも学べる機会を様々な方法で提供していただきたい。

そこで、Zoomの活用や親子体験等を多く取り入れ、若い世代の参加・公民館理解を広げていってほしい。

#### 前田委員

根形公民館のNOCの活動には日頃から注目している。コロナ禍でも創意工夫し、新しい企画を立ち上げ大成功を収めたことは大きな成果だ。子ども対象の事業は、興味、関心、意欲を高める工夫やスタッフの魅力的な人柄によることも大きい。公民館に親しみをもつ第一歩は、安心できる、また信頼できるスタッフがいるということだと思う。

#### 石井委員

どこも講座が中止になった場合、そのままにするのではなく、次にどうつなげていって、来られなかった人をどうフォローするのか課題としてとらえているのは、すごいと思います。

成人教育推進事業、男性セミナー ”旬な野菜でピザを作ろう！”、”電子レンジを使ったフルコース料理”、”プランター菜園を始めよう！”等、家庭における男性の役割を広げ豊かな時間を増やす一環として個人的に応援したいです。

## 議題（２）令和４年度市民会館・公民館経営方針及び重点施策（案）に対する意見

### 稲毛委員長

コロナ禍における中での公民館活動ができない中、学習する時間がないのでオンライン活動等をもう少し増やしたらどうかと思います。

### 大野副委員長

異議ありません。

### 齋藤副委員長

コロナ禍でも、HPやSNSが苦手な方でも学習できるような方法、例えばCDにしたものの貸し出しや分かりやすい資料を作成し配付するなど、アナログ対応も可能な提供も必要ではないでしょうか。

少子化が進む中、地域住民、異学年交流は大切な取組と考えます。

### 庄司委員

「家庭と地域の教育力の向上」は、たいへん重要であると考えています。特に、子どもの心と向き合う時間が減っているように感じています。私たち教職員もそうですが、もっと子どもに話させて、親が聞くことができるような時間をつくり出せるような家庭力、教師力を育成できるといいかなと思います。

### 田中委員

方向性（１）施策④公民館事業の点検と評価のところ、2021年度では、記載されていた事業評価方式（PDCA方式）の文言が消えている。方式には、決められたルールの下でという意味合いがあり、今回表記されないのは、その部分を曖昧にしたいのではないかと思ってしまう。従前もルール通りにはなされていないようでしたが、文言がなくなると曖昧さが募り、正確な検証が難しくなると思います。面倒で大変ですが、文言は残して、追求していただきたい。

### 早川委員

特に意見等はございません。

### 片寄委員

施策の方向性（１）施策の順番と文言を変更した旨の「説明書」を読んで、その趣旨、順番に納得いたしました。同時に市民の代表である審議会委員の立場を再認識し、責任を感じます。

施策の方向性（３）施策③「社会教育施設の環境整備」で避難所運営マニュアル



の検証は、3年度で完了でしょうか？

また、平川公民館の「体育館照明設備修繕」は令和3年度に引き続き修繕するのでしょうか？

#### 山田委員

経営方針については賛成です。特に一人ひとりの学びを支える生涯学習の充実では、職員や教育推進員など、素晴らしい知識を持った人々が企画運営をされているので出会う地域の人個々に積極的にアピールすることを願います。

#### 篠原委員

この施策で一年間頑張ってもらいたい。事業をより具体的に展開し、評価検証しながら進めてほしい。下記2点について現在実施しているかもしれませんが、意見を述べます。

- ① 情報の発信について、現状実践していることプラス文化祭で長浦公民館が実施していたサークルや事業等の映像を視聴できる日を毎月何日か設け情報提供する。
- ② サークルの方々の力の活用。事業時の看板や背景の作成や地域、他の公民館、学校幼稚園、保育園等にボランティア講師(モノづくり、絵画・書写等指導)として紹介・派遣する。

#### 前田委員

経営方針の中の「自主的な活動への支援」に対する具体的な手立てが、重点方針の中では触れられていなかった。次年度は「学習機会の保障」に重点を置くと言うとらえでよいのか。

#### 石井委員

「人生100年時代を迎え、誰もが輝ける学びを支援する」ための取組が目標の一つとしてあり、これを重点施策として、コロナ禍における市民の学習機会の保障と持続可能な市民の自主的な活動への支援を令和4年度の重要な取組事項としての経営方針に納得です。

## その他の意見

### 庄司委員

公民館の事業について、様々な視点から学ぶことができ、ありがとうございました。

### 田中委員

方向性(1)施策②公民館事業への市民の意見の反映のところで、市民の代表である公運審の意見を反映したとあるが、委員の中で公民館運営における住民参加の原理について考えを共有したほうがいいと思い、審議会の開始時間前に委員のみで意見交換会を提案して数回実施してきた。コロナの影響で時間制限がかかりここ数回中止されている。2022年度は、再開していただきたい。委員長をお願いします。

### 片寄委員

袖ヶ浦市生涯学習推進大会記念講演(市民三学大学講座)を、動画で視聴しました。

講演の内容は、講師「笠井信輔さん」の壮絶な闘病から得た貴重な教訓でしたが、その中の一つに「高齢者ほどデジタル機器の操作を身につけないと、楽しい老後は送れない」「スマホでテレビ電話ができるように、コロナ禍の入院でも孤独から救われる」とありました。

これからの公民館活動の参考になるのではと思いました。

### 山田委員

一段と大変な時期となりましたが事業内容も多く、又細かく素晴らしいものだと思います。

今回、公運審に参加させていただき、とてもよい勉強をさせていただきました。特に県や市町村との研修は公民館の見方が拡がりました。感謝します。

### 篠原委員

人々の価値観がより多様化してきていますが、利用者及び利用しない人々の意見も参考にしながら、公民館がより充実し、地域の方々が多く集い、より頼られる場になりますよう職員の皆様、期待しています。

### 前田委員

今回、スマホで入力、提出でき大変便利でした。ありがとうございました。

以上

# 令和3年度第5回袖ヶ浦市公民館運営審議会

令和4年3月

書面会議

## 次 第

### 1 報 告

- (1) 令和4年袖ヶ浦市成人式の実施結果について

### 2 議 題

- (1) 令和3年度市民会館・公民館事業の成果と課題について
- (2) 令和4年度市民会館・公民館経営方針及び重点施策（案）について

## 第24期袖ヶ浦市公民館運営審議会委員名簿(令和3年度)

No.		氏名	選出区分	備考
1	委員	しょうじ みつとし 庄司 光利	学校教育 小中学校長会代表	1期目
2	委員	しろ た まさふみ 代田 雅文	社会教育 文化協会代表	2期目
3	委員	た なか てるひろ 田中 輝博	社会教育 子ども会育成会連絡協 議会代表	3期目
4	委員	はやかわ あつし 早川 敦	社会教育 音楽協会代表	3期目
5	委員	いなげ ひろお 稲毛 博夫	社会教育 スポーツ協会代表	委員長 8期目
6	委員	さいとう たかひこ 齋藤 隆彦	家庭教育	副委員長 3期目
7	委員	おおの としえ 大野 俊江	学識経験者	副委員長 5期目
8	委員	かたよせ れいこ 片寄 礼子	学識経験者	3期目
9	委員	やまだ まちこ 山田 まち子	学識経験者	2期目
10	委員	しのはら かずゆき 篠原 和行	学識経験者	1期目
11	委員	まえだ もとこ 前田 元子	学識経験者	1期目
12	委員	いしい きみえ 石井 喜三江	公募委員	1期目

任期 令和2年7月1日から令和4年6月30日まで  
(庄司委員は前任の退職に伴い、令和3年4月28日から令和4年6月30日まで)

## 報告（１）令和４年袖ヶ浦市成人式の実施結果について

「生まれ育った郷土に感謝し、社会の一員として力強く生きる気持ちを持つ」という目標を掲げ、袖ヶ浦市の成人式を開催しました。公民館運営審議会委員の皆さまには、実行委員としてご協力をいただくとともに、成人式にご参列いただきありがとうございました。おかげをもちまして、各会場、厳粛のうちに式典を終了することができました。

コロナ禍での開催となりました成人式は、３つの密を回避するため、会場を一部変更いたしました。長浦地区は長浦中学校体育館、蔵波地区は蔵波中学校体育館、平川地区は平岡公民館多目的ホールから平川公民館体育室、根形公民館は視聴覚室から多目的ホールへ変更いたしました。

なお、実施結果は下記のとおりです。

### １．実施状況

昭和・長浦・根形・平川地区は１月９日（日）午前９時３０分から受付、１０時３０分から式典。蔵波地区は午後０時４５分から受付、午後１時３０分から式典。式典終了後は、それぞれの会場で記念撮影やビデオレターなどの記念行事を実施し終了した。

### ２．式典出席者

地 区	対 象 者			出 席 者			出席率 %	前回(R2) 出席率%
	男	女	計	男	女	計		
昭和地区	111	80	191	78(10)	55(5)	133(15)	70.7	65.4
長浦地区	60	52	112	44(6)	46(5)	90(11)	80.4	62.3
蔵波地区	73	93	166	59(8)	70(2)	129(10)	77.7	74.2
根形地区	25	29	54	17(2)	20(6)	37(8)	68.5	89.8
平川地区	57	47	104	47(3)	44(4)	91(7)	87.5	81.4
計	326	302	626	245(29)	235(22)	480(51)	76.7	71.4

\*対象者は、11月5日時点で住民登録を有する者と、事前に出席の申込みのあった市外転出者の合算とした。

\*出席者のカッコ内は市外転出者の出席数で内数である。

### 5年間の推移

	平成29年	平成30年	平成31年	令和2年	令和3年
対象者数(人)	684	640	654	678	665
出席者数(人)	533	498	487	484	318
出席率(%)	77.9	77.8	74.5	71.4	47.8

\* 令和3年は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により式典を中止した。

\* 令和3年の対象者数は、令和2年11月27日現在、住民登録されている対象者の人数を示す。出席者数は、撮影スポットの利用者数を示す。

### 3. 記念行事

各館で行われた記念行事の内容は次のとおりである。

#### 【昭和地区】

会 場 市民会館  
内 容 記念撮影、恩師からのお祝いの言葉、スライドショー

#### 【長浦地区】

会 場 長浦中学校  
内 容 記念撮影、恩師からのお祝いの言葉

#### 【蔵波地区】

会 場 蔵波中学校  
内 容 記念撮影、恩師からのお祝いの言葉、ビデオレター

#### 【根形地区】

会 場 根形公民館  
内 容 記念撮影、ビデオレター、小学校へデジタルカメラ寄贈

#### 【平川地区】

会 場 平川公民館  
内 容 記念撮影、ビデオレター、新成人の主張

### 4. その他の参加者

地 区	来 賓 (実行委員は除く)	実行委員	職 員 (実行委員は除く)	そ の 他	計
昭和地区	19	7	4	7	37
長浦地区	11	7	3	16	32
蔵波地区	8	7	5	17	36
根形地区	7	8	2	15	32
平川地区	4	10	5	13	32
計	43	39	19	68	165

※ 来賓には案内者（主催者）を含む。

※ 実行委員には、新成人は含まない。

※ その他は、社会教育推進員、青少年相談員などの会場設営協力者である。

### 5. 記念品

館長会議や成人式担当者会議での検討の結果、ガウライラスト入りフォトフレームに決定し、当日に配付を行った。

## 6. まとめ（目標に対する結果）

「生まれ育った郷土に感謝し、社会の一員として力強く生きる気持ちを持つ」という目標に対する結果は下記のとおりである。

### 【昭和地区】

受付は、事前に参加票を送付したことによりスムーズに滞りなく行うことができたが、受付の前後でロビーに滞留し密集を回避することはできなかった。

式典は、新成人による進行のもと厳粛な雰囲気の中、実施することができた。新成人代表挨拶では、仲間と共に成人になった喜び、また、家族、お世話になった先生、地域の方々への感謝の気持ち、そして、自らの人生を切り拓いていく決意と社会の一員としての自覚と責任が感じられた。

記念行事は、大ホールにおいて、新成人の企画、運営のもと中学校時代のスライドショーの上映と恩師がステージに登壇してのメッセージを行ない、和やかな雰囲気の中、当時を懐かしむ会話が飛び交った。

また、青少年相談員昭和支部より提供いただいた撮影用パネルでの写真撮影は来場した新成人、保護者には好評であった。

なお、新成人実行委員の多くが県外の在住であったため、一堂に会しての実行委員会議の開催が難しく、新成人実行委員はオンラインにより会議へ参加した。そのため、日程の調整と併せて会場及び機材の確保をしなければならなかった。

### 【長浦地区】

開式直前までは久しぶりの再会を喜ぶ姿でとてもにぎやかな様相であったが、開式以後は厳かな空気に包まれ、成人としての自覚がうかがえた。また、新成人代表挨拶は、堂々としており大変立派であった。

式典後の記念行事では小学校、中学校でお世話になった5名の恩師から温かいメッセージをいただき、新成人、保護者ともに当時を懐かしんでいる様子が印象的であった。

運営面では受付の際に人が密集する場面がみられたため、会場への速やかな誘導や余裕を持った受付スペースの確保などが課題として残った。

今年は会場を新成人の多くの母校である長浦中学校としたことで、新成人からは「母校で成人式が出来て嬉しかった」などの声があった一方で準備や当日の運営などでスタッフの負担が大きく、次回以降の会場について、検討の必要がある。

### 【蔵波地区】

開式直前までは、なかなか着席せずに話をする姿も見られたが、式典は厳粛な雰囲気の中実施され、来賓や主催者の祝辞を聞く姿勢などに成人としての自覚がうかがえた。また、新成人代表挨拶は、心のこもった素晴らしいものであった。

記念行事では、小学校、中学校時代の恩師からのビデオレターの上映と、会場にいらした7名の恩師のうち代表して1名からスピーチがあり、新成人や保護者の笑顔が見られ温

かく活気のある行事となった。

今年会場を蔵波中学校としたが、新成人から母校での成人式を喜ぶ声とともに、体育館が2階にあるため、振袖を着ての移動が大変だったとの声もあった。その中で、着崩れてしまった振袖や髪形の直しを、実行委員の女性スタッフが丁寧に対応してくれたとの声をいただいた。また、会場が2階にある影響か、開式直前まで受付をせずに玄関外で談笑している新成人が多く、開式直前の受付が混みあってしまった。会場への速やかな誘導が必要であった。

今回は、成人式を2会場で開催したため、準備や当日運営、後片付けでスタッフが大変であった。社会教育推進員や青少年相談員から、1会場で実施する方が良いという意見もいただいた。次回以降の会場について検討する必要がある。

### 【根形地区】

受付は社会教育推進員等の協力もあり、スムーズに実施できた。ただ、受付後の新成人がロビーに滞留する姿が一部見られた。控室のみならず、密を回避のうえ、交流できるようなスペースをつくれると良いと思うと実行委員から意見が挙がった。

式典に臨んだ新成人は、静かに主催者挨拶などを聴いており、とても厳粛な式であった。新成人代表挨拶は、新成人の地域への感謝が伝わるものであり、また、式典中の新成人の姿に保護者等は成長を強く実感したと思う。

式典後の記念行事は、コロナ禍の中でもできることを新成人自身で企画・運営し、ビデオレターや学生時代の映像視聴、集合写真の撮影を行った。恩師と保護者も参加するなど、地域を巻き込んだこの形は、根形地区の伝統となっている。記念行事の冒頭で、根形地区にゆかりのある若者で「ねこまる」を企画・運営するN.O.Cが活動紹介を行った。“成人式の縁”で始まったねこまるの活動に今回の新成人たちが参加することを期待する。

昨年度好評であった撮影用スポットを、青少年相談員の協力のもと今回も設置した。新成人同士だけでなく、保護者も交えて笑顔で撮影している姿がとても印象に残った。また、駐車場の雪かきをするなど、新成人のために行動する青少年相談員の姿に実行委員などから感謝の声が挙がった。

成人式当日に第2回実行委員会議を行った。新成人からは記念行事の運営方法を反省する声も挙がったが、それに対し、他の実行委員から「コロナ禍でも“場”をつくったことが大事」といった意見があった。また、初めて多目的ホールで式典を行ったが、「音響（ノイズ）が気になった。対応を検討して欲しい。」といった声があったので、次年度以降の対応に活かしたい。全体としては、新成人の準備、当日の行動に対する称賛の声が多く挙がり、地域ぐるみ、根形のあたたかさを感じる成人式であった。



## 【平川地区】

受付は新成人の協力もありスムーズに実施することができた。記念式典では、実行委員として進行や新成人代表挨拶などを担当した新成人がそれぞれの役割を立派に果たし、厳粛な雰囲気の中で進めることができた。

記念行事はビデオレターと新成人の主張、記念写真撮影を行った。ビデオレターは小中学校の恩師から新成人へのメッセージを上映した。恩師の映像が切り替わるたびに新成人から歓声が上がった。新成人の主張では代表者1名が登壇し、これからの抱負を発表した。記念写真撮影において一時的に密となってしまうが、私語を慎んでもらいマスクを撮影開始ギリギリまで着用し撮影することとした。

青少年相談員より昨年提供いただいた撮影用パネルを設置し、新成人同士や家族との写真を撮影するうえで好評であった。

多くの保護者、地域の方々、に見守られながら、厳かな式典と若者らしい希望溢れる記念行事ができた。

## 議題（１）令和３年度市民会館・公民館事業の成果と課題について

令和３年度の市民会館・公民館事業は、令和２年度のような休館こそなかったものの、緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置の発令に伴い、新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するため、一定期間、利用時間の制限や市外の方の利用制限を行った中で各種事業・講座を実施した。

実施した事業・講座においては、定員の縮小をはじめ、新型コロナウイルス感染拡大防止のためのガイドラインに基づいた対策を行い、受講者の安全を最優先に考え慎重に実施した。途中、やむを得ず中止とした事業・講座もあったが、今年度は一部の事業・講座において、試行的にZoomによる講義や動画視聴を実施するなど、コロナ禍での学びの一つの形として、新しい取り組みを実施する事が出来た。対面によらない事業・講座については、講師との調整や動画編集などの課題はあるものの、少しずつ頻度を増やしていけるよう、市民会館・公民館の職員間で情報交換や研修などを開催し、スキルアップに努めていくこととしたい。

令和４年度もコロナ禍での事業実施となることが想定されるため、今年度実施事業のふり返りを確実にいき、次年度へいかしていかなければならない。

### 1 令和３年度市民会館事業の成果と課題

#### （１）家庭教育総合推進事業

「乳幼児家庭教育学級（平川公民館と合同開催）」「小学校家庭教育学級」

「中学校家庭教育学級」「親業訓練入門講座」

##### ○主な学習内容

乳幼児家庭教育学級：自然と遊ぼう part1 ザリガニ釣り、自然と遊ぼう part2 収穫体験をしよう！、みんなで体を動かそう！ミニ運動会、乳幼児ママ向け防災講座～今できることを始めよう～、未来のプレゼント 思い出のアルバムづくり ほか

小学校家庭教育学級：市民会館、昭和小学校PTA研修部、奈良輪小学校PTA研修部及び社会教育推進員とコロナ禍における開催に向けて協議を進めたところ、２月に「タブレット学習」をテーマとした学級を２回開催することとなった。しかしながら、１月以降に新型コロナウイルス感染症が拡大し、やむを得ず中止とした。また、５館合同講演会として、「SNSの弊害～SNSの光と影～」を開催した。

中学校家庭教育学級：オール1の落ちこぼれ、教師になる（市民三学大学講座の動画視聴）、LGBTと性の多様性について、食育、学校だより「老婆心ながら」の解説、今後の学費捻出に向けて（Zoom開催）

親業訓練入門講座：親業って何、親業訓練の目的、親の役割とは何か ほか

## ○成果

**乳幼児家庭教育学級**は、平川公民館と共催し、親子を対象とした体験型講座を中心に開催した。また、今年度から各公民館違うテーマで講座を組んだため、昭和・平川地区以外の方からの申し込みもあり、定員に達する講座生を迎えることができた。講座の様子については、土日に開催した親子向け講座については、父親の参加も多く見られ、また、保護者向け講座では子どもを保育ボランティアに預け、熱心に勉強される保護者の姿が見られた。コロナ禍において保護者及び家族内での交流機会が減少している中で、それらの機会を求める声に応じることができ、かつ、子育てについて理解を促進する場を設けることができた。

**小学校家庭教育学級**は、5館合同講演会として、子ども達に広がるSNS（ソーシャルネットワークサービス）をテーマとして開催した。スマホ等の画面を見過ぎることによる健康への悪影響だけでなく、コミュニケーションへの影響やネットトラブルに巻きこまれないよう、保護者が子どもにSNSの安全な使用方法や家庭でのルールを教える大切さを学んだ。また、コロナ禍での開催であった為、会場参加及びZoomによるリモート参加の機会を設けた。

**中学校家庭教育学級**は、市民三学大学の動画視聴を皮切りに、昭和中学校のオープンスクール開催日3日間に合わせた対面での開催、合同講演会において講師と公民館、そして学級生自宅等を結んでのZoomによる開催など、様々なテーマ・時期・方法での学級開催が出来たことで、参加者のニーズに応えることができた。

**親業訓練入門講座**は、子どもとのより良いコミュニケーション方法を学ぶため、グループディスカッションやロールプレイなどの体験学習（訓練）を中心に実施した。受講生からは、「自分の子供に実践してみようと思った。」「自分自身の育児について考えるきっかけになった。」などの感想を聞くことができ、より良い親子関係を作るための知識、技術を学ぶ場を設けることができた。

## ○課題

**乳幼児家庭教育学級**は、0歳～6歳までの子を持つ保護者を対象としているが、子の年齢幅があるため、どうしても講座ごとに偏りができてしまった。子どもたち全員が一緒に学べて楽しい講座にするために、1つ1つの講座内容をもっと詰めて考える必要がある。また、昨年度の講座生の要望から、今年度親子参加型を多く講座に組み入れたが、今年度の講座生に今後取り上げてほしいテーマを伺ったところ、保護者向け講座の要望が多くあった。そのため、来年度は子どもを保育ボランティアに預け、保護者が集中して学べる講座の開催を増やすことを検討する。移動教室について、今年度はコロナ感染拡大防止のため中止としたが、そもそも乳幼児をバスに乗車させることについて問題がないか、再度確認をする必要がある。

**小学校家庭教育学級**は、コロナ禍での企画について、中止や延長を見越した準備が必

要であった。年度初期からの取り組みとすることで、新型コロナウイルス感染症の拡大状況に対応していく必要がある。

**中学校家庭教育学級**は、様々なテーマ・時期・方法での学級開催が出来たことで、参加者のニーズに応えることができたと思われる一方、参加者数が伸び悩んだため、周知の方法や時間帯を再検討する必要がある。

**親業訓練入門講座**は、対象者を0歳から高校生までの子を持つ保護者としており、全年齢に共通する講義内容となると、専門性が失われ参加者の希望に添えない部分がある事がアンケート結果等から判明した。そのことを踏まえ、来年度の当該講座は開催せず、親業訓練協会所属の講師を各家庭教育学級の講義にお越しいただくことで、対象年齢を絞りより専門的な内容で講座を開催できるよう検討する。

## (2) 青少年教育推進事業

### 「子どもチャレンジ教室」

#### ○主な学習内容

楽しくレクリエーション「ボッチャ」、皿回し・マジック！みんなで挑戦大道芸！、防災のお話・防災グッズづくり、奈良輪めぐり、書初め、工作&サイエンスクイズ

#### ○成果

コロナ禍での開催となり、感染症対策と定員制限を設けて開催したが、定員一杯の申し込みがあった。コロナ禍の影響により様々な交流機会が失われている中、地域の小学校2校の児童が交流しながら学べたことは非常に有意義であった。また、児童も楽しく笑顔で参加する様子が見られた。

#### ○課題

子ども達の交流を図る内容の企画は、接触の機会や道具の共有が生じやすいので、児童が参加しやすい方法に注意して、既存の開催方法以外も模索することが必要である。

### 「世代間交流事業」

#### ○主な学習内容

12月に実施した世代間交流事業は、地域の恒例事業として定着しており、地域の方との協働でクリスマスリースづくりを行なった。新型コロナウイルス感染症対策を講じ定員を制限したが、抽選を行なうほど多数の申し込みがあった。

#### ○課題

感染症対策を講じて実施したが、新型コロナウイルス感染症の拡大が抑えられていた時期であったので開催できた。また、事前準備としてクリスマスリースの材料を確保する必要があることや講師・協力者の高齢化が進みつつあることが課題である。

### (3) 成人教育推進事業

#### 「女性セミナー」「男性セミナー」「舞台コーディネーター養成講座」「単発講座」

##### ○主な学習内容

女性セミナー：ごみ処理の流れを知ろう！袖ヶ浦クリーンセンター見学、～安心して暮らすために～袖ヶ浦市の生活支援&頭と体の元気トレーニング、特殊詐欺に騙されない！最新手口を知って回避術を学ぼう、人権・男女共同参画 ほか

男性セミナー：国指定史跡山野貝塚を知ろう！、旬な野菜でピザを作ろう！、プランター菜園を始めよう！

舞台コーディネーター養成講座：舞台機構、照明設備、音響設備、本番を想定した総合演習について、舞台用語を交えながら設備の効果的な使用方法や仕込み等を実際の設備を使用して実施した。

単発講座：ポッチャ体験会を1月以降に開催の予定で検討を進めていたが、まん延防止等重点措置の対象地域に指定されたため開催を見送ることとした。

##### ○成果

**女性セミナー**は、今年度は「SDGs（エスディージーズ）を学ぼう」をメインテーマに講座を開催した。持続可能な開発目標にあげられている「環境問題」「健康」「福祉」等について、自分たちの身近な日常生活の中ですぐ取り組むことのできる内容を主に学習した。その他、コロナ禍でストレスを溜め込まないために、珈琲の正しい淹れ方や写経を実際に書く講座など、自宅時間を有意義なものにする内容の講座にも取り組み、講座を通して地域の仲間づくりにつなげることができた。

**男性セミナー**は、従来の広報そでがうらやホームページなどに加え、LINEやツイッターにより講座生の募集を行い、比較的多くの講座生を迎える事が出来た。テーマは一つに絞らず3回開催を企画し、第1回「国指定史跡山野貝塚を知ろう！」においては、現地までのウォーキングや現地での説明、郷土博物館の展示品見学の際に興味を示していただき、また、途中、講座生同士で談笑をする場面も見られ、講座を通して仲間づくりのきっかけづくりをすることができた。第2回「旬な野菜でピザを作ろう！」及び第3回「プランター菜園を始めよう！」については、残念ながら新型コロナウイルス拡大防止を考慮し中止となった。

**舞台コーディネーター養成講座**は、コロナ禍での冬季の開催を避け、6月から開催したことで全4回を開催することができた。また、受講者は、舞台に興味がある、初めて舞台に触れる等、舞台に関して初心者の方が多く、積極的な参加が見られた。

##### ○課題

**女性セミナー**では、身近な生活課題や社会課題の中から、年間のメインテーマについて受講生の意見を参考に社会教育推進員とともに設定している。コロナ禍で生活環境に影響が出ている今、講座生の求めていることにより耳を傾け、学びたい気持ちを大切に

した講座の内容を検討していく必要がある。

**男性セミナー**では、年齢制限を設けずに募集をしたが、若い世代の申し込みが少なかったことから、より若い世代の参加と交流が促せるよう講座内容を検討するとともに、開催時期の関係から中止にせざるを得ない回があったため、講座の予定は年内完了とし、予備日を年明けに設定するなどの必要性を感じた。

**舞台コーディネーター養成講座**は、舞台に興味がある受講者の参加があるが、受講後に大ホールを使用する機会が少なく、活躍する機会が必要である。

**単発講座**は、地域で活動する様々な主体との連携、協力により、住民が新たな活動に取り組む「きっかけづくり」となるよう、学習や体験の機会として提供する必要がある。

#### (4) 高齢者いきがい促進事業

##### 「昭和ふれあい教室」

###### ○主な学習内容

ワクチン接種と感染予防、市内における消費者トラブルの現状と被害の防ぎ方について、おなかの健康を保つために、薬との上手な付き合い方 ほか

###### ○成果

今年度は高齢者に身近なテーマということで、第1回で「ワクチン接種と感染予防」として、君津中央病院の認定看護師等から新型コロナワクチン接種をしなかった場合のリスクや副作用について講義をいただき、その後の集団コロナワクチン接種への不安を取り除くことができた。

また、電話や訪問による消費者トラブルの現状や防ぎ方、健康における腸の大切さや薬との上手な付き合い方を学び、健康で充実した生活を送るための一助となる講義を開催できた。途中、新型コロナウイルス拡大防止を考慮しての2回の中止を経た後の再開の回では、教室生が笑顔で楽しそうに会話をはずませている光景は印象的であった。

###### ○課題

今年度は、昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症対策のため、会場を大ホールに限定して実施した。また、接触の機会を極力減らしたことから、新たな仲間づくりには結びつきにくかった。今後も、学級生の代表である運営委員や社会教育推進員との協働により、実施内容の工夫に努める。

#### (5) 地域人材育成講座

###### ○主な学習内容

昭和地区のテーマを「地域理解」として、郷土史、まちの散策（ウォーキング）までを行なった。第3回目の講座は、日常でまちを散策した際に撮った神社、史跡、まちの様子などの写真をお散歩マップとしてまとめる講座を行なう予定である。

## ○成果

第1回講座では、郷土史をテーマとし、坂戸市場、神納、奈良輪、福王台の神社や史跡等に焦点を当てた。水神下遺跡の出土品を紹介し、受講者は興味を抱いた様子であり地域に残されたスポットや歴史について関心があることが伺えた。

第2回講座では、袖ヶ浦駅北口から福王台へとウォーキングを行ない、日常でのまちの散策が受講者自身でも行えるよう、正しい歩き方などの講義を交えたものとなった。各受講者とも年齢が異なるだけでなく、日常で歩く頻度や歩き方も異なっている様であったが、初歩的なテクニックであっても丁寧な指導があり、即実践しやすい内容であった。

## ○課題

今年度から始まった講座であるが、模索しながらの試みが多かった。全3回ある講座が分離してしまわないよう、事業の目的である「学習をとおして地域や生活を見つめなおし、自身の活動につなげること」を意識し、引き続き取り組む必要がある。

## (6) 各種行事推進事業

### 「市民音楽フェスティバル」「芸能文化まつり」

#### ○主な内容

第40回市民音楽フェスティバル：中止

(経緯) 主催である市民会館と袖ヶ浦市音楽協会で開催の可否についての打合せを行い、コロナ禍での実施は難しいと判断し中止とした。

第34回芸能文化まつり：中止

(経緯) 共催する袖ヶ浦市文化協会と協議し、新型コロナウイルス感染症による出演団体の活動機会が減少し、練習期間が設けられていない現状と、新型コロナウイルス感染症の拡大している中での実施は難しいとの判断により中止とした。

#### ○課題

**市民音楽フェスティバル**は、前回(令和元年度:第38回)に実施した際の課題に加え、コロナ禍での実施について開催方法を検討する必要がある。

**芸能文化まつり**は、市内文化団体の活動成果の発表の場であるため、その機会を絶やさぬようコロナ禍での実施について開催方法を検討する必要がある。

議題（１）令和３年度市民会館・公民館の事業計画について  
令和３年度市民会館事業実施状況報告

令和４年２月２８日現在

No.	教育ビジョンの体系	事業名		対象	令和３年度			令和２年度		
					実施期日	回数等	延べ人数	回数等	延べ人数	
1	目標２(１)① 市民への学習機会の提供と情報の発信	ホームページ等による情報の発信		市民等	随時			随時		
2	目標２(２)① 家庭の教育力向上のための支援	家庭教育推進事業	乳幼児家庭教育学級（うたたねハッピーくらぶ）（平川公民館と合同）	０歳から就学前の幼児を持つ保護者	６月～１２月	９回 （１回中止）	保護者１１８人、 幼児１４７人	７回 ※根形公民館と合同	１４８人	
3			小学校家庭教育学級	昭和地区の小学生の保護者	１１月１７日	１回	６人	１回	３人	
4			中学校家庭教育学級	昭和中学校生徒の保護者	７月～１２月	５回	４０人	１回	５人	
5			親業訓練入門講座	高校生までの子を持つ保護者	１０月１０日 １０月１７日	２回	２２人	２回	２６人	
6	目標２(２)③ 地域の教育力向上	青少年教育推進事業	子どもチャレンジ教室	昭和地区の小学４年～６年生	６月～１月	５回 （３回中止）	６７人	１回 （２回中止）	５人	
7		青少年相談員支部活動		昭和地区青少年相談員	通年		１４人		１４人	
8		地区住民会議（坂戸の森みどりの会）活動		昭和地区各種団体	通年		２２団体		２２団体	
9		世代間交流事業		昭和地区の高齢者と親子	１２月１１日	１回	５９人	中止		
10	目標２(３)① 誰もが主体的に学ぶことができる社会教育活動の推進	成人教育推進事業	女性セミナー	昭和地区成人女性	８月～１月	６回 （１回中止）	１１３人	５回 （１回中止）	８７人	
11			男性セミナー（旧さわやかセミナー）	市内在住・在勤の男性	１２月１２日	１回 （２回中止）	１４人	３回	１２人	
12			舞台コーディネーター養成講座	大ホール利用者。高校生以上	７月～１０月	４回	４３人	中止		
13			単発講座	昭和地区の成人			中止		３回	１９人
14			高齢者いきがい促進事業	昭和ふれあい教室（高齢者教室）	昭和地区の６０歳以上の方	５月～１月	５回 （３回中止）	２２６人	４回 （１回中止）	１８０人
15		地域人材育成講座		昭和地区の成人	１２月～３月	３回	２６人			



No.	教育ビジョンの体系	事業名	対象	令和3年度			令和2年度		
				実施期日	回数等	延べ人数	回数等	延べ人数	
16	目標2(3)① 誰もが主体的に学ぶことができる社会教育活動の推進	各種行事 推進事業	市民会館まつり代替行事「市民会館活動サークル等展示発表会」	市民	11月6日 11月7日	2日間	418点 1,396人	2日間	98点 109人
17	目標2(3)② 社会教育関係団体の活動への支援		ロビー展示	各種団体等	通年		93点 6団体		66点 5団体
18			第40回市民音楽フェスティバル(音楽協会との共催)	市民		中止		中止	
19			第34回芸能文化まつり(文化協会との共催)	市民		中止		中止	
20			ファミリー劇場	市民	7月25日	1回	360名		
21			子ども会育成会支部活動	単位子ども会7団体	通年		7団体		7団体
22	利用者懇談会		定期利用団体	3月	2回	32団体	3回	32団体	
23	目標2(3)③ 学びを支える地域人材の育成と活動の促進	社会教育推進員活動	社会教育推進員	通年		9人		9人	
24	成人式		H13.4.2 ~ H14.4.1 に生まれた昭和地区の新成人	1月9日		133人		89人	
25	公民館運営審議会		委員	5月~2月	5回	12人	5回	12人	

※ 令和3年度の実施期日及び回数等、延べ人数には3月以降の開催予定分も含んでおります。

## 2 令和3年度平川公民館事業の成果と課題

### (1) 家庭教育総合推進事業

「乳幼児家庭教育学級（平川公民館と合同開催）」「小学校家庭教育学級」

「中学校家庭教育学級」

#### ○主な学習内容

乳幼児家庭教育学級：ザリガニ釣り、収穫体験、ミニ運動会、防災講座、アルバムづくり ほか

小学校家庭教育学級：子育て座談会（中学校家教合同）、浜宿団地里山ウォーキング、運動栄養睡眠講話、タブレット学習について、合同講演会「SNSの弊害」

中学校家庭教育学級：子育て座談会（小学校家教合同）、防災講座、タブレット学習について、合同講演会「今後の学費捻出に向けて」

#### ○成果

**乳幼児家庭教育学級**は、市民会館と共催し、親子を対象とした体験型講座を中心に開催した。昨年度は参加者が集まらないことが課題であったが、今年度から事業改善を行い、各公民館違うテーマで講座を組んだため、昭和・平川地区以外からの申し込みもあり、定員に達する講座生を迎えることができた。講座の様子については、土日に開催した親子向け講座については、父親の参加も多く見られ、また、保護者向け講座では子どもを保育ボランティアに預け、熱心に勉強される保護者の姿が見られた。コロナ禍において保護者及び家族内での交流機会が減少している中で、それらの機会を求める声に応じることができ、かつ、子育てについて理解を促進する場を設けることができた。

**小学校家庭教育学級**では、PTAの方々の積極的な協力により、密に連携をとりながら講座運営することかできた。また、今年度から使用している小中学校家庭教育学級運用のてびきを用いて家庭教育学級の趣旨や目的を的確に説明できたことにより、より充実した内容の講座を企画することができた。

**中学校家庭教育学級**では、今年度からPTAへの委託形式ではなくなったことにより、公民館とPTA共同で講座の企画ができ、小中学校家庭教育学級合同座談会や生徒と合同での避難所開設体験など、例年になかった内容の講座を開催することができた。

#### ○課題

**乳幼児家庭教育学級**では、0歳～6歳までの子を持つ保護者を対象としているが、子の年齢幅があるため、どうしても講座ごとに偏りができてしまった。子どもたち全員が一緒に学べて楽しい講座にするために、1つ1つの講座内容をもっと詰めて考える必要がある。また、昨年度の講座生の要望から、今年度親子参加型を多く講座に組み入れた

が、今年度の講座生に今後取り上げてほしいテーマを伺ったところ、保護者向け講座の要望が多くあった。そのため、来年度は子どもを保育ボランティアに預け、保護者が集中して学べる講座の開催を増やすことを検討する。移動教室について、今年度はコロナ感染拡大防止のため中止としたが、そもそも乳幼児をバスに乗車させることについて問題がないか、再度確認をする必要がある。

**小学校家庭教育学級**では、PTA役員の講座参加率は高かったが、それ以外の方の参加は少なかった。いろいろな方に参加したいと思ってもらえるような幅広く需要のある内容の講座の企画や、PTA役員から他の保護者への周知などが必要である。

**中学校家庭教育学級**では、就労している保護者が多かったため、参加者が少なかった。来年度は就労している方も時間を気にせずに閲覧することができるY o u T u b e 配信を行う等の検討が必要である。

## (2) 青少年教育推進事業

### 「子どもクラブ」

#### ○主な学習内容

凧揚げ大会参加、ザリガニ釣り、ポッチャ、お正月お飾りづくり

#### ○成果

新型コロナウイルス感染症拡大により数回中止になってしまったが、普段体験できないような内容の講座を中心に企画し、参加した児童同士で交流を深める姿がみられた。屋外で行ったザリガニ釣りでは保護者も対象としたこともあり、多くの児童・保護者に参加していただいた。

#### ○課題

コロナ禍ということもあり、年々、参加者数が減少している。友達同士での参加を促したり、感染症対策を徹底し、コロナ禍の中でも安心して参加したいと思えるような企画・運営が必要である。

### 「書き初め教室」

#### ○主な学習内容

平川公民館登録サークルを講師とし、中川小学校の冬休みの課題の書き初めを行った。

#### ○成果

平川公民館登録サークルに講師を依頼し、冬休み中に小学3～6年生を対象にして1回開催した。講師やサークル会員の指導により上達が見られ、公民館サークルと地域の子どもたちとの交流も図ることができた。

#### ○課題

参加者が少ないことが残念だった。来年度は実施日程等、調整・工夫をしていきたい。

### (3) 成人教育推進事業

#### 「女性セミナー」「園芸講座」「単発講座」

##### ○主な学習内容

女性セミナー：ボッチャ、消費者トラブルに関する学習、骨ナビ（体を動かし、体の調子を改善する）

園芸講座：夏野菜の基礎知識、農園見学、家庭菜園体験談 など

単発講座：初心者・シニア向けスマートフォン教室

##### ○成果

**女性セミナー**では、年間学習テーマを「健やかな生活を目指す学習をしながら、“コロナ禍”で希薄になりがちな人との結びつきを意識できる講座」として、健康に関する学習を主に実施した。特に、一緒にゲーム（ボッチャ）を行ったり、体を動かしたり、座学でも全員から質問や感想等の発言をしてもらおう等、“交流”を意識した内容、講座運営ができた。

**園芸講座**は、特に、果樹・野菜の栽培方法や手入れなどの知識や手法への学習要望が多く、毎回アンケートを実施しながら要望に沿う形で講座内容を検討し実施した。実地での学習を主に、座学も取り入れたが、毎回多数の質問が上がり、講座生と講師、また、講座生同士の交流も盛んに行うことができた。

**単発講座**では、初心者・シニア向けスマートフォン教室を行った。9月に行ったところ多数の申し込みがあり、受講できない方が多くいたため、12月にもう一回実施した。災害時に役立つ機能や使用方法、インターネットの検索方法など、すぐに役立つ学習ができた。

##### ○課題

**女性セミナー**は、新型コロナウイルス感染症の影響で半分近くの計画が中止となってしまった。開催直前で中止した講座は、講師も資料の準備ができていたため、出席予定者や希望者に資料を送付したが、中止となった場合、学習や、公民館に集まることを楽しみにしていた方々に対しての何かしらのフォローができないか考える必要がある。

**園芸講座**は、講座の性質上実地に赴いて行うものが多いが、駐車に困るところが多い。また、新型コロナウイルス感染症の影響で中止となった回があったため、来年度で実施することを考えている。

**単発講座**は、初心者・シニア向けスマートフォン教室を2回実施したが、まだ受講希望の方がいるため、来年度は単発講座としてではなく、「初心者・シニア向けスマートフォン教室」という一講座として開設することとしている。

単発講座の内容としては、時節や地域のニーズだけでなく、公だからこそ行える内容を考えていきたいが、参加者を集めるのが困難なものもあり、周知内容や方法をよく考

えなければならぬ。

#### (4) 高齢者いきがい促進事業

##### 「うぐいす学級」

###### ○主な学習内容

落語・腹話術講演、ごみの減量化・資源化の学習、衛生管理学習、健康講話

###### ○成果

新型コロナウイルス感染症の影響で中止になってしまった計画もあったが、座学を中心に、感染対策をしながらでも取り組みやすい内容で実施できた。各講師には、座学の中にも体験的な内容を入れていただき、各講座1時間半程度だったが、飽きの来ない構成で、大変生活のためになる内容だった。

###### ○課題

自宅から公民館への移動手段がないことから参加が難しいとの声がある。また、中止となった場合、学習や、公民館に集まることを楽しみにしていた方々に対しても何かしらのフォローができないか考える必要がある。

さらに、地区とりまとめ以外の講座生が少ないため、来年度は、より地域の方の申し込みが増えるよう講座名称を見直す予定である。

##### 「お出かけ高齢者講座」

###### ○主な学習内容

落語講演、腹話術など

###### ○状況

地区社会福祉協議会の市民サロンと共催してきたが、新型コロナウイルス感染症の影響で市民サロンが行われていないため、本講座も開催がない状況である。

###### ○課題

今後も、平川公民館まで移動できない高齢者を対象にした講座展開が必要である。

#### (5) 地域人材育成講座

###### ○主な学習内容

防災講演会「私の、地域の「防災」検定！～迫る災害に備えて～」、防災セミナー「すぐに役立つ防災の基礎知識～コロナ禍での避難所づくり～」、視察研修（千葉県消防学校、防災研修センター）

###### ○成果

9割以上の参加者が学習した内容が生活に結び付いていると感じるなど、生活に密接した内容で実施できた。実際に避難所づくりの一部を考え体験したり、震災の体験をし

たりすることで、参加者の防災意識が高まり、自分が暮らす地域や生活を防災の観点から見つめなおし、行動することにつながった。

#### ○課題

参加者が集まりにくい内容もあったが、実際に参加した方からはいずれも好評だったため、周知する際のタイトル、内容等を工夫する必要がある。

また、来年度以降は、災害時の避難所設営や運営等に対し、どのような役割が必要で、各人がどう携わることができるかを地域住民自らが考え、実際に避難所生活が機能するよう地域の連携を促していくことができる内容を展開することが課題である。

### (6) 各種行事推進事業

#### 「ロビー展示」

##### ○主な内容

各種団体の作品展示、季節のディスプレイ、各種ロビーイベント、主催事業等写真掲示、平川地区の歴史に関する展示 など

##### ○成果

文化協会所属団体等の作品を展示して、発表の機会を提供した。

また、季節のディスプレイは、登録サークルの協力により五月の節句に合わせ鯉のぼりや兜の展示を行ったり、地域の方の厚意で竹を提供いただき七夕の展示を行った。ロビーイベントについては、ハロウィンに地域の方の提供によるカボチャの重さ当てや、クリスマスや節分に来館者の折り紙等の作品を掲示してもらった企画を実施した。いずれも地域住民参加型の企画となり、平川公民館により親しみを持ってもらい、地域住民同士の交流を図ることができた。

さらに、公民館事業等のA3サイズの写真を掲示し、事業への興味を喚起することができた。

##### ○課題

ロビーワークは、講座のように人を集めなくても実施できることが多いので、今後もコロナ禍でもできる地域活性化の一助となるよう、いろいろなことを試みる必要がある。また、今年度ロビーワークを通してできた人脈を今後も事業に生かしていきたい。

令和3年度平川公民館事業実施状況報告

令和4年2月28日現在

No.	教育ビジョンの体系	事業名	対象	令和3年度			令和2年度		
				実施期日	回数等	延べ人数	回数等	延べ人数	
1	目標2(1)① 市民への学習機会の提供と情報の発信	ホームページ等による情報の発信	市民等	随時			随時		
2	目標2(2)① 家庭の教育力向上のための支援	家庭教育総合推進事業	幼児家庭教育学級(すまいる学級)(平岡公民館と合同)	2歳から就学前の幼児を持つ保護者	8月～12月			5回	14人
3			乳幼児家庭教育学級(うたたねハッピーくらぶ)(平川公民館と合同)	0歳から就学前の幼児を持つ保護者	6月～12月	9回(1回中止)	保護者118人、 幼児147人		
4			小学校家庭教育学級	中川小学校児童の保護者	6月～12月	5回	39人	2回(3回中止)	16人
5			中学校家庭教育学級	平川中学校生徒の保護者	6月～12月	4回(1回中止)	16人	1回(4回中止)	2人
6	目標2(2)③ 地域の教育力向上	青少年教育推進事業	子どもクラブ	中川小児童	5月～12月	4回(3回中止)	45人	1回(2回中止)	23人
7			書き初め教室	中川小学校3～6年生	12月	1回	7人	中止	
8			青少年相談員支部活動	中富地区青少年相談員	通年		9人	通年	9人
9		地区住民会議(中富ふれあいの会)活動	中富地区各種団体	通年		16団体	通年	15団体	
10	目標2(3)① 誰もが主体的に学ぶことができる社会教育活動の推進	成人教育推進事業	女性セミナー	中富地区の成人女性	5月～3月	4回(4回中止)	38人	4回(3回中止)	45人
11			園芸講座	市内在住・在勤成人	5月～2月	4回(4回中止)	44人	5回(3回中止)	47人
12			単発講座	市民	9月～3月	3回(1回中止)	47人	1回(2回中止)	8人
13		高齢者いきがい促進事業	うぐいす学級(高齢者教室)	中富地区の60歳以上の方	6月～3月	4回(4回中止)	60人	2回(2回中止)	31人
14			おでかけ高齢者講座	中富地区の60歳以上の方	5月～3月	中止		中止	
15		地域人材育成講座(防災)	中富地区の市民	6月～12月	3回	18人			
16	目標2(3)② 社会教育関係団体の活動への支援	各種行事推進事業	平川公民館まつり代替行事「平川公民館作品展示会」	市民	11月13日 11月14日	2日間	285点 221人	2日間	239点 107人
17			ロビー展示	各種団体	通年		213点 9団体		129点 8団体

No.	教育ビジョン の体系	事業名	対象	令和3年度			令和2年度	
				実施期日	回数等	延べ人数	回数等	延べ人数
18	目標2(3)② 社会教育関 係団体の活 動への支援	子ども会育成会支部活動	単位子ども 会	通年		3団体	通年	3団体
19		利用者懇談会	登録サーク ル・定期利 用団体	3月	1回	29団体	中止	
20	目標2(3)③ 学びを支え る地域人材 の育成と活 動の促進	社会教育推進員活動	社会教育推 進員	通年		9人	通年	10人
21	成人式		H13.4.2 ～ H14.4.1 に 生まれた中 富・平岡地 区の新成人	1月9日	1回	91人	1回	69人

※ 令和3年度の実施期日及び回数等、延べ人数には3月以降の開催予定分も含んでおります。



### 3 令和3年度長浦公民館事業の成果と課題

#### (1) 家庭教育総合推進事業

「子育てパパ応援講座」「小学校家庭教育学級」「中学校家庭教育学級」

##### ○主な学習内容

子育てパパ応援講座：昆虫採集、収穫体験他

小学校家庭教育学級：時間管理教育講座、防災講座他

中学校家庭教育学級：時間管理教育講座、三学大学動画視聴

##### ○成果

**子育てパパ応援講座**は、今年度より対象者を小学校就学前の子を持つ父親として実施した。15名の募集に対し、29名の申し込みがあり、父親の子育てに関する関心の高さを感じた。

講座では父親と子どもが昆虫採集、松ぼっくりのクリスマスツリーづくりなどの体験や、同世代の子を持つ親との交流をすることができた。

**小学校・中学校家庭教育学級**は、時間管理教育講座など家庭の教育力向上の支援を目的とし、オンライン講座を中心に実施した。

##### ○課題

**子育てパパ応援講座**においては、当初の想定より申込者が多く、募集15名に対し、29名の申し込みがあり、結果として25名を講座生として事業をスタートすることとなった。次年度以降も同じようなことが想定されるため、対応を検討したい。

**小学校家庭教育学級・中学校家庭教育学級**では、コロナ禍で集まって実施することに抵抗感がある保護者が多く、オンライン講座を中心に実施したが、Zoomなどオンライン対応の知識が不足しているため、知識を習得する必要がある。また、共働きの家庭が多く、参加者を増やすことが難しいと感じた。

#### (2) 青少年教育推進事業

「わんぱく教室」「長浦ジュニアお琴教室」

##### ○主な学習内容

わんぱく教室：潮干狩り、工作教室、フラワーアレンジメント、  
親子防災スタンプラリー、書初め教室

長浦ジュニアお琴教室：お琴の練習

##### ○成果

**わんぱく教室**では、子どもたちに潮干狩りといった自然体験や、フラワーアレンジメントなどの体験の機会を提供し、体験の感想を述べあうなどの活動を通して、参加児童相互の交流を図ることができた。親子防災スタンプラリーは、初めての取り組みであっ

たが参加した親子に、防災や減災について家族で話し合うきっかけを提供できた。

**長浦ジュニアお琴教室**では、小学校4～6年生を対象に10名の募集に対し10名の応募があり、月1回をペースに練習した。今年度も、コロナ禍のために発表会は設けられなかったが、長浦公民館作品展示会では動画を使って練習の成果を披露することができた。

#### ○課題

**わんぱく教室**では、募集数に対して申し込み数があまり芳しくない回もあった。引き続き、魅力ある事業展開をおこない、参加者の増加を図る必要がある。

また、親子防災スタンプラリーでは募集対象を小学校4～6年生とその保護者としたが、参加希望者から「兄弟の面倒をみる人がおらず参加できない。」との声があり、対象を小学校1年生からにしたところ参加者が増加した。今後は、未就学児の保育を検討するなど、募集方法を工夫する必要がある。

**長浦ジュニアお琴教室**では、初心者と経験者のコースを分けて実施している。公民館主催講座として、邦楽に触れる機会を引き続き提供し、経験者をサークルに移行していく必要がある。

### (3) 成人教育推進事業

「女性セミナー」「男性セミナー」「ながうら遊学塾」「お正月飾りづくり講習会」

#### ○主な学習内容

女性セミナー：運動、災害についての学習、園芸、移動教室他

男性セミナー：調理実習、DIY体験、移動教室

ながうら遊学塾：モルック体験、里山歩き、移動教室他

お正月飾りづくり講習会：正月飾りづくり

#### ○成果

**女性セミナー**では、レクダンスなどの運動や災害に備えての学習などに取り組み、講座生の交流を図った。災害に備えての講座は、近年、災害を身近に感じているからか、講師に対して積極的に質問する姿が見られた。多肉植物の寄せ植えやハーバリウムづくりでは、自分だけのオリジナル作品の出来上がりに満足している様子が見られた。

**男性セミナー**では仲間づくりが目的であるため、調理実習やDIYなどを通じて参加者同士の交流を図った。DIY教室は、道具の共有や三密を避けながら行ったが、コロナ禍によって人気が高まっていることもあって大変好評であり、作成した折りたたみテーブルは自宅に帰ってから更に仕上げ加工をする人もおり、とても充実した内容となった。

**ながうら遊学塾**では、ニュースポーツであるモルックの体験や、ハーモニー体操、ハンガーを使ったクリスマスリースづくりなど「楽しみながら学ぶ」をテーマに各講座に

取り組んだ。

お正月飾りづくり講習会は例年開催しているが、定員15名に対し28名の応募があり、定員を増やして実施するほど好評であった。

#### ○課題

成人教育推進事業に限定されないが、男性セミナーなどの一部の事業では、年々講座生の減少が続いている。事業の設定にあたっては、対象者層の生活課題及び、求められている学習内容を検討し、講座計画や周知方法に反映させる必要がある。

### (4) 高齢者いきがい促進事業

#### 「長浦さわやかスクール」

#### ○主な学習内容

レクリエーション、映画鑑賞会、グラウンドゴルフ、落語他

#### ○成果

袖ヶ浦市レクリエーション協会による三密や接触を避けた軽運動や映画鑑賞の機会を提供した。また、グラウンドゴルフ大会等では講座の参加者からいきいきとした笑顔が見られ、心豊かで生きがいのある高齢期を過ごすという講座の目的を達成できた。引き続き、生きがい促進のため事業を展開したい。

#### ○課題

不参加が多かった講座については原因などを精査し、参加しやすい環境づくりを行う必要がある。また、対象が高齢者ということもあり、感染症対策についてはより一層注意を払い柔軟な対応をすることも重要である。

### (5) 地域人材育成講座

#### 「地域デビュー講座」

#### ○主な学習内容

地域活動に関する講話、地域活動への参加他

#### ○成果

地域活動を知り、体験することで地域とのつながりを持ちたいと考えている方の地域デビューのきっかけづくりをすることができた。

第2回『地域活動に参加してみよう！』では地区住民会議と公民館主催事業の共催で実施した親子防災スタンプラリーにスタッフとして参加してもらい、地域活動の魅力や重要性を伝えることができたと感じた。受講者の中には今後も地域活動に参加することを希望し地区住民会議の会員となった者もいた。

#### ○課題

申込者が7名と少なく、ターゲットや周知方法などを見直す必要がある。

令和3年度長浦公民館事業実施状況報告

令和4年2月28日現在

No.	教育ビジョンの体系	事業名	対象	令和3年度			令和2年度	
				実施期日	回数等	延べ人数	回数等	延べ人数
1	目標2(1)① 市民への学習機会の提供と情報の発信	ホームページ等による情報の発信	市民等	随時			随時	
2	目標2(2)① 家庭の教育力向上のための支援	家庭教育総合事業	子育てパパ応援講座 2歳から就学前の幼児を持つ保護者(父親)	7月～12月	5回	保護者57人、 幼児73人		
3		小学校家庭教育学級	長浦・蔵波地区の小学生を持つ保護者	7月～2月	7回 (1回中止)	92人	2回	18人
4		中学校家庭教育学級	長浦・蔵波地区の中学生を持つ保護者	7月～12月	5回	67人	3回	7人
5	目標2(2)③ 地域の教育力向上	青少年教育推進事業	わんぱく教室 長浦・蔵波地区の小学生	5月～12月	6回 (2回中止)	129人	2回	11人
6		長浦ジュニアお琴教室	長浦小・蔵波小・昭和小・奈良輪小の4～6年生	5月～3月	9回 (4回中止)	76人	3回 (4回中止)	24人
7		青少年相談員支部活動	長浦支部青少年相談員	通年		22人		22人
8		長浦地区住民会議(ながうら青空の会)活動	長浦地区各種団体	通年		25団体		25団体
9	目標2(3)① 誰もが主体的に学ぶことができる社会教育活動の推進	成人教育推進事業	女性セミナー 長浦地区の成人女性	5月～1月	8回	151人	5回 (2回中止)	90人
10		男性セミナー 市内在住・在勤成人男性	5月～1月	6回	32人	2回	13人	
11		ながうら遊学塾	成人(長浦地区優先)	6月～1月	7回	161人	5回 (1回中止)	75人
12		お正月飾りづくり講習会	市内在住・在勤成人	12月22日	1回	26人	1回	21人
13		高齢者いきがい促進事業	長浦さわやかスクール(高齢者教室)	長浦地区の60歳以上の方	6月～1月	6回 (2回中止)	153人	5回 (2回中止)
14		地域人材育成講座	長浦地区の成人	10月～12月	3回	10人		

No.	教育ビジョンの体系	事業名		対象	令和3年度			令和2年度	
					実施期日	回数等	延べ人数	回数等	延べ人数
15	目標2(3)① 誰もが主体的に学ぶことができる社会教育活動の推進	各種行事 推進事業	長浦公民館作品展 示会	市民	11月12～14 日	3日間	541点 976人	2日間	195点 232人
16	目標2(3)② 社会教育関係団体の活動への支援		ロビー展示	各種団体、 サークル、 市内小中学校	通年		138点 11団体		50点 4団体
17			子ども会育成会支部活動	単位子ども 会4団体	通年		4団体		4団体
18			利用者懇談会	各種団体、 サークル	3月	1回	61団体	1回	60団体
19	目標2(3)③ 学びを支える地域人材の育成と活動の促進	社会教育推進員活動		社会教育推進員	通年		9人		10人
20	成人式(長浦地区)			H13.4.2～ H14.4.1に 生まれた長 浦地区の新 成人	1月9日		90人		51人
	成人式(蔵波地区)			H13.4.2～ H14.4.2に 生まれた蔵 波地区の新 成人	1月9日		129人		82人

※ 令和3年度の実施期日及び回数等、延べ人数には3月以降の開催予定分も含んでおります。

## 4 令和3年度根形公民館事業の成果と課題

### (1) 家庭教育総合推進事業

「小学校家庭教育学級」「中学校家庭教育学級」「ワーキングママ支援講座」

#### ○主な学習内容

小学校家庭教育学級：講演（災害に備えて、SNSの弊害、感染症対策等について）

中学校家庭教育学級：講演（災害に備えて、感染症対策、マネープラン等について）

ワーキングママ支援講座：講義（市の子育て支援、片付け・整理収納術、生涯のライフプラン・教育費、親子の豊かなコミュニケーション法について）

#### ○成果

小学校家庭教育学級及び中学校家庭教育学級は、小・中学校PTAとの連携を意識し、今年度も合同講演会以外は合同で実施した。今年度はZ o o mを活用した回（合同講演会）を設け、コロナ禍でもできるものを模索、実施できた。

ワーキングママ支援講座は、これから働きたい、または、現在働いている母親に対して、仕事と家庭・育児を両立していくうえで、働くことへの不安や疑問の解決策などを考える機会を提供した。緊急事態宣言発出の最中であったが、感染症対策を徹底して実施した。参加者からは学ぶ機会があったことに感謝の声もあり、プロの講師陣による子育てのヒントは好評を得た。

#### ○課題

小学校家庭教育学級及び中学校家庭教育学級は、参加者が少なく、実施内容や参加募集方法などをPTAと協議・検討する必要がある。Z o o mを活用した回では、Z o o mを活用できないなどの参加者もいるなど、運営方法も課題である。「運用のてびき」をPTAとの打ち合わせで配付・説明したが、十分活かせなかった。

ワーキングママ支援講座は、より多くの母親に参加してもらえるよう、乳幼児を持つ母親だけでなく、現在働いている母親にも参加を促していく。また、コロナ禍での事業の実施手段を工夫する必要がある。

### (2) 青少年教育推進事業

「花まる絵画教室」「子ども絵画教室」「ねがたオープンキャンパス（ねこまる）」

#### ○主な学習内容

花まる絵画教室：水彩画制作

子ども絵画教室：水彩画制作

ねがたオープンキャンパス（ねこまる）：体験活動

#### ○成果

花まる絵画教室は、定員16名に対し、17名の申込みがあった。例年人気を博して

いる講座であるが、それと比較すると今年度は比較的少なかったように感じている。今年度も新型コロナウイルス感染症対策として、密集・密接をさけるため抽選を行い、定員である16名を教室生とした。なお、感染症対策として、昨年度同様に飛沫防止のため作業台の中央にビニールシートを設置した。

**子ども絵画教室**は、定員16名に対し、16名の申込みがあった。花まる絵画教室から継続して参加する子どもたちもおり、コロナ禍であっても絵を描きたいといったニーズを実感した。今年度もバスを利用した遠方への移動教室を実施できなかったが、現地集合・現地解散という形にし、袖ヶ浦海浜公園で写生を行うなど、コロナ禍であってもできることを模索しながら取り組んだ。なお、花まる絵画教室同様の感染対策を行った。

**ねがたオープンキャンパス（ねこまる）**は、根形小学校児童を対象に、根形地域にゆかりのある若者たち「N.O.C (Negata Open Campus)」が夏休みなどを用い、勉強や体験活動の場を提供している。今年度からは、毎月1回程度、N.O.Cが定例会を開催し、新企画を話し合ったりするようになった。

8月に予定していたねこまるは、根形地区住民会議根っ子の会のデイキャンプと共催で実施を予定していたが、千葉県に緊急事態宣言が発出されたことに伴い、中止となった。しかし、若者からの提案や地域の後押しもあり、10月31日（日）に「ねこまるハロウィンパーティー」を、12月19日（日）に「ねこまるinウインター」を開催した。

ねこまるハロウィンパーティーには、昨年度ねこまるに参加していた子どもたちが中学生ボランティアとして参加した。ねこまるinウインターには、袖ヶ浦高校（書道部・新体操部・吹奏楽部）がパフォーマンス披露、書き初め指導、体操教室を行うなど、根形地区の子どもたちに様々な体験の場や交流の場を提供した。今年度のねこまるも、交流の場、人材育成の場をつくることができた。

なお、根形小学校在籍中にねこまるへ参加し、現在、袖ヶ浦高校に在籍中の若者から、ねこまるやN.O.Cに興味があると相談を受けた。ねこまる当初から描いていた「参加者から運営側へ」が現実味を帯びてきていると実感した。

## ○課題

**花まる絵画教室**についてはここ数年、抽選で参加者を決定している。令和元年度は、講師と相談のうえ、申込者20名を教室生として全員受け入れたが、令和2年度、令和3年度は、新型コロナウイルス感染症対策ということもあり、抽選を行い定員である16名の教室生としている。次年度は、講師及び社会教育推進員に相談したうえで、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、募集人数や、花まる絵画教室の開催方法を次年度に向けて検討することとしたい。

**子ども絵画教室**については、集中力が切れてしまう子どもの姿が垣間見えた。また、途中から欠席をする子も見られ、その原因を把握する必要がある（参考：今年度は、年

内に教室を終えるよう日程を変更した)。今後も、コロナ禍でも安心して参加できる、実施できる環境づくりを準備したい。

**ねがたオープンキャンパス（ねこまる）**について、新型コロナウイルス感染症によって活動が制限されることが多く、予定していた企画も中止や変更を余儀なくされた。また、新スタッフの掘り起こしやスタッフ間の情報共有も課題であり、情報を取りやすい環境をつくっていくことが課題である。

### (3) 成人教育推進事業

#### 「成人絵画教室」「地域再発見講座」

##### ○主な学習内容

成人絵画教室：静物写生（野菜・果物・花瓶・花）・石膏デッサン・風景写生（袖ヶ浦公園）・表現技法・移動教室（千葉県立美術館 他）

地域再発見講座：講義（疫病、方言、熊野信仰、久留里城の歴史）、移動教室（久留里城址資料館 他）、施設見学（かずさDNA研究所）

##### ○成果

**成人絵画教室**は、毎回、学習テーマを決めて、油絵や水彩画の基本的な知識や技法を講師から指導を受けながら、絵を描くことを楽しむ場として実施することができた。また、美術館等を鑑賞した際は、お互いに作品の感想を述べ合うなど教室生の交流も深めることができた。学習の成果としてサークル等発表会やサークル作品展に出展し、創作意欲の向上にもつながった。

**地域再発見講座**は、根形地区を主とする地域の再発見を目的として、「先人たちの歴史を紐とき、私たちの生きるまちを知ろう」をテーマに、地域の成り立ちや歴史の一旦をたどった。視察研修では事前に講話を聞いて臨むことで学習の効果を高めた。回をとおして講座生の意欲的に取り組む姿が見られた。

##### ○課題

**成人絵画教室**は、近年は参加者が減少傾向であるので、令和3年度に実施した根形公民館サークル等発表会で行った「油絵体験」の参加者に声をかけるなど、募集のPRを積極的に行っていく必要がある。

**地域再発見講座**は、継続的な講座生が多いので、新しい講座生を掘り起こすとともに、これまで学習してきた内容を講座生自身が成果として活かせることを検討していきたい。

### (4) 高齢者いきがい促進事業

#### 「根形ニコニコ教室」

##### ○主な学習内容

歌声教室、レクリエーションスポーツ（サイコロシュート）、身近な危機管理の講話（市



内交通事故状況、消費生活トラブル、地域防災に関する講話)、移動教室(千葉県立中央博物館・大多喜分館他)、根形地区の歴史講話、映画会、健康管理に関する講話、お楽しみ演芸会を実施した。

#### ○成果

運動機能低下の防止対策として、今年度はレクリエーションスポーツを取り入れた。70歳代後半の高齢者の参加率も高い教室であるが、椅子に座りながらでも参加できる競技であったため、参加者は楽しく取り組んでしたように感じた。過去には運動量が多いために、参加者の体力が続かないということがあったので、今後も適切な運動量を見極めて実施内容を考えたい。健康講座は、毎年、根形地区を担当する保健師を講師として実施しているため、参加者一人ひとりの状況を把握している。また、新たな実施内容として、参加者の耳になじみのある昭和の歌を主とした「歌声教室」や、地域に住んでいても意外と知らない根形地区の歴史講話、郷土博物館の収蔵庫見学などを取り入れるなど、様々な分野での学習内容としたことで、参加者に大変好評であった。

#### ○課題

新たな参加者が、わずかずつではあるが増えている一方で、高齢化により従来からの参加者について、参加する機会が減少している傾向もみられる。

また、新型コロナウイルス感染症のまん延により、感染することを恐れて参加を控えたり、本人が参加の希望があっても、家族に参加を見合わせるように促されるなどの理由により、参加者の減少が見られる。しかし、地域の高齢者が1ヶ月に一度は公民館に集まり、コミュニケーションの場、学習機会の場としてもらうため、質の高い講座内容の検討と、新型コロナウイルス感染症の対策をしっかりと行うことで、安全で安心な、学習機会の提供を行っていく必要がある。

### (5) 地域人材育成講座

#### 「防災講演会(根形・平川・平岡公民館合同開催)」

テーマ: 私の、地域の「防災」検定! ~迫る災害に備えて~

講師: 危機管理教育研究所 代表

危機管理アドバイザー 国崎 信江 氏

#### 「防災学習会」

テーマ: 自分の、地域の、災害リスクを知ろう!

~生き抜くための防災学習~

#### ○主な学習内容

“防災「学びをとおした地域防災」”をテーマに、**防災講演会**と**防災学習会**を実施した。

**防災講演会**は、令和元年台風の経験や千葉県でも大地震が起こりえる状況を踏まえ、自分の住む地域のリスクを把握し、防災対策を取ることが重要と考え、開催した。

防災学習会は、平日日中に地域にいる中学生を対象に、災害時に自分でできること、自分たちが取り組まなければならないことを考えるきっかけの一助として実施した。

#### ○成果

防災講演会は、木更津市や君津市の危機管理アドバイザーも務める国崎信江さんを講師に招き、4市の防災事情と防災教育の必要性を学ぶことができた。また、参加者アンケートを実施し、生活上の課題や地域課題を挙げてもらったので、その点を次年度以降の活動につなげたい。

防災学習会は、新型コロナウイルス感染症感染拡大状況を踏まえ、実施形態を変更し、講師が作成したワークシートやパワーポイント、ハザードマップを用いた事前学習を行うなど、当初の実施形態とは異なったものの、中学生の防災意識向上につなげることができた。また、動画による学習と模擬避難所体験を行ったが、予想以上に防災物資（例：ダンボールベットなど）への関心が高く、次年度の防災学習につなげたい。動画による学習は、場所を選ばずにいつでも視聴できるものであり、コロナ禍であってもできる講座のヒントを得た。

#### ○課題

防災講演会は、資料説明用のパソコンが動作不良を起こし、画面展開がうまくいかない状況が起きてしまった。事前に講師の事務所と調整していたものの、結果として講演の進行を妨げてしまった。今後は、より徹底した準備が必要である。

防災学習会は、新型コロナウイルス感染症感染拡大状況を踏まえ、実施形態を変更することとなった。動画による学習では、テレビなどの音量が小さいなど、機器操作が課題であった。また、模擬避難所体験の時間が予想以上に短く、せっかくの機会を十分活かせなかった。今後は、事前準備を徹底したい。

上記のとおり実施した事業をとおして、講座生自身が自分の暮らす地域や生活を見つめなおし、自身の活動へつなげるよう、公民館として働きかけたい。

## (6) 各種行事推進事業

### 「サークル等発表会」「サークル作品展」

#### ○主な内容

##### サークル等発表会

市民だれもが郷土の文化に親しみながら教養を高め、創造力を培う場とする。

また、公民館利用者等が日頃の学習成果を発表する機会をつくると共に、各種の催しをとおして、コロナ禍での地域の交流の場とする。

開催日：11月6日（土）、7日（日）

##### サークル作品展

根形公民館を拠点として活動する芸術・工芸分野のサークル、ならびに根形公民館

の主催する絵画・陶芸教室の学習成果を発表する作品展とする。

開催日：3月12日（土）～3月20日（日）

#### ○成果

**サークル等発表会**は、昨年度以上の団体等が参加、また、展示品の増加や催し物を実施するなど、各団体等の日頃の学習成果を発表する機会となった。また、来場者と参加団体等、さらには参加団体同士が交流する機会もつくることができた（例：芸能音楽発表会に参加した団体同士が互いの発表を観覧していた）。来場者及び参加団体から「公民館まつりは中止となったが、発表会ができて良かった」との声もいただいた。

コロナ禍を踏まえ、館内への出入口を一箇所にし、かつ、来場者を総合受付で対応したことで、各部屋へ安心安全に誘導できた。

**サークル作品展**は、サークル活動と根形公民館主催事業の1年間の成果発表として3月に実施する。サークル代表者による実行委員会が主催となり、会場設営・展示作業・当日の受付等をサークルの会員が担当する。本年度は、根形公民館主催事業の花まる絵画教室と子ども絵画教室からの作品も展示する。

#### ○課題

**サークル等発表会**を公民館まつりの代替行事として実施していることを知らなかったという地域の方々もいたので、事業周知が課題である。

コロナ禍での開催ということもあり、様々な対策を講じたが、受付や駐車場対応などをより来場者にとって負担が無く、安全安心なものにしていく必要があると感じた（例：来場者が総合受付に集中した時に、誘導係が多くいるとより密を回避できた。また、駐車場へ行く車と駐車場から移動してくる来場者との距離が近くなならないよう工夫が必要）。

**サークル作品展**は、令和元年度並びに令和2年度は緊急事態宣言の発出により開催することができなかった。開催時期にコロナの感染者が増加する傾向があり、実施の判断が直近までわからない。開催にあたっては感染症対策を徹底して行っていくが、来場者へのPRや広報活動をどこまでやるべきか苦慮している。

令和3年度根形公民館事業実施状況報告

令和4年2月28日現在

No.	教育ビジョンの体系	事業名		対象	令和3年度			令和2年度	
					実施時期	回数等	述べ人数	回数等	述べ人数
1	目標2(1)① 市民への学習機会の提供と情報の発信	生涯学習情報の収集とホームページ等様々なメディアを活用した情報の発信		—	随時			随時	
2	目標2(2)① 家庭の教育力向上のための支援	家庭教育総合推進事業	小学校家庭教育学級	根形地区の小学生の保護者(各回募集)	7月～12月	4回 (1回中止)	13人	2回	4人
3			中学校家庭教育学級	根形中学校生徒の保護者(各回募集)	7月～12月	4回 (1回中止)	13人	2回	3人
4			ワーキングママ支援講座	これから働くことを考えている、または働いている母親	8月・9月	4回	34人	4回	39人
5	目標2(2)③ 地域の教育力向上	青少年健全育成事業	地区住民会議(根っ子の会)活動	根形地区の各種団体等20団体	通年	4回	20団体等	4回	20団体等
6			青少年相談員支部活動	青少年相談員 根形支部8人	通年		8人		8人
7			子ども会育成会支部活動	単位子ども会6団体	通年		6団体		6団体
8	青少年教育推進事業	子ども絵画教室	花まる絵画教室	市内小学1年～3年生16人	6月～12月	6回	88人	6回	92人
9			子ども絵画教室	市内小学4年～6年生16人	5月～12月	9回	120人	8回	53人
10			ねがたオープンキャンパス(ねこまる)	N.O.C(根形地区の青少年)及び登録サークル会員等、根形小児童(各回募集)	8月2日(中止) 8月4日(中止) 8月21日(中止) 8月22日(中止) 10月31日 12月19日	2日間 (4日間中止)	60人	3日間	45人

No.	教育ビジョンの体系	事業名		対象	令和3年度			令和2年度		
					実施時期	回数等	述べ人数	回数等	延べ人数	
11	目標2(3)① 誰もが主体的に学ぶことができる社会教育活動の推進	成人教育推進事業	成人絵画教室	市内在住・在勤成人15人	5月～2月	10回	71人	9回	94人	
12			地域再発見講座	市内在住・在勤成人20人	6月～3月	6回 (1回中止)	64人	7回	102人	
13		高齢者いきがい促進事業	根形ニコニコ教室 (高齢者教室)	根形地区の60歳以上の男女70人	5月～3月	9回	257人	9回	239人	
14		各種行事推進事業	根形公民館まつり代替行事	市民	11月6日 11月7日 (2日間)	2日間	611点 1,051人	3日間	530点 484人	
15			ねがたファミリーコンサート	根形ニコニコ教室生、根形地区親子 他	8月7日	1回	57人	1回	85人	
16		地域人材育成講座		①主に根形地区、平岡地区、中川・富岡地区在住者70人程度 ②根形中学校生徒	①6月19日 ②9月30日(※) ※9月22日に事前学習を実施	2回	172人	1回	38人	
17		目標2(3)② 社会教育関係団体の活動への支援	各種行事推進事業	ロビー展示	各種団体他	通年		133点 11団体		92点 9団体
18				根形公民館サークル作品展	根形公民館で活動する芸術・工芸関係サークル等	3月12日～3月20日	9日間		中止	
19			利用者懇談会	定期利用団体	3月	1回			1回	29団体
20		目標2(3)③ 学びを支える地域人材の育成と活動の促進	社会教育推進員活動		社会教育推進員10人	通年		9人		10人
21		成人式			H13.4.2～H14.4.1に生まれた根形地区の新成人	1月9日		37人	中止	

※ 令和3年度の実施期日及び回数等、延べ人数には3月以降の開催予定分も含んでおります。

## 5 令和3年度平岡公民館事業の成果と課題

### (1) 家庭教育総合推進事業

#### 「幼児家庭教育学級」「小学校家庭教育学級」

##### ○主な学習内容

幼児家庭教育学級：レクリエーション、泥団子づくり、リトミック、食育講座

小学校家庭教育学級：多肉植物の寄植え、タブレット授業について

##### ○成果

**幼児家庭教育学級**は、「健康な心と体づくり」をテーマに実施した。親子参加型としたことにより、例年よりも講座生が増えた。新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、移動教室は中止としたが、他の講座については、感染状況をみながら開催時期を調整して、計画どおり実施できた。親子で活動等を行ったことで、より楽しく学習することができたと評価する講座生が多かった。更に、「保育園に入っていない子どもにとっては、色々な人と会える貴重な機会であり、良い刺激を受けることができた。」との声もあった。

**小学校家庭教育学級**は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、計画どおりに開催することはできなかったが、平岡小学校PTA文化研修委員と連携を図りながら、各講座を通して、保護者間の情報交換や学習の機会を提供することができた。

##### ○課題

**幼児家庭教育学級**は、子どもの体調等により、当日に、参加をすることができなくなる講座生が多かったが、今後も、講座生が参加しやすい曜日や開催時期を配慮しながら、各講座の参加率が上がるように取り組んでいきたい。

**小学校家庭教育学級**は、全保護者を対象としてチラシを配布するなど、開催案内の周知を徹底したところであるが、参加人数は少なかったのが現状である。参加者が増えるよう、今後もPTA文化研修委員と連携して講座の内容を検討していきたい。

### (2) 青少年教育推進事業

#### 「ひらおか子ども教室」

##### ○主な学習内容

スタンプラリー&エコ素材のおもちゃ作り、星空観察会、ネイチャービンゴ、書初め教室

##### ○成果

「公民館を身近な施設と感じてもらう」をテーマに、全館を使ったスタンプラリーを行った他、自然科学の視点を入れた講座等を開催した。特に、星空観察会や書初め教室は、参加者が多く、とても盛況であった。また、ネイチャービンゴは、椎の森里山会の

方を講師として、「しいのもり」で自然と触れ合いながら、ゲームや工作をして自然に対する興味・感心を高めるよう努めた。また、地域の方々との交流もでき、貴重な経験となる講座となった。

#### ○課題

参加対象児童が少ない平岡地区であるが、一人でも多くの子どもたちに参加してもらえるよう、楽しく学べる体験的な内容を引き続き検討するとともに、子どもが興味を持ってくれるようなチラシづくりについても、力を入れて取り組んでいきたい。ネイチャービンゴは椎の森で開催したが、現地集合であったため、送迎をしてもらうことができない子どもたちは参加することができなかつたのではないかと。子どもが一人だけで行けない場所で実施する場合は、市バスを手配する等、配慮をして実施していきたい。

### (3) 成人教育推進事業

「わくわく女性倶楽部」「国際理解セミナー」「男性のための料理教室」

「ひらおかハッピータイム（地域交流事業）」

#### ○主な学習内容

わくわく女性倶楽部：花セラピー、骨盤低筋肉群エクササイズ、睡眠・快眠講座、食育セミナー、袖ヶ浦市人権・男女共同参画フェスタ、切り絵

国際理解セミナー：イタリアの食文化、ドイツの食文化、エチオピアの文化・社会情勢、オーストラリアの生活様式・環境、ロシアの文化

男性のための料理教室：電子レンジを使ったフルコース料理

ひらおかハッピータイム：お正月飾りづくり

#### ○成果

**わくわく女性倶楽部**は、「お家で簡単にできる心と体のリフレッシュ術を学ぶ」をテーマに、様々な分野から学習を行い、講座生同士の交流を行うことができた。また、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、平岡公民館初の「オンライン」による講座を開催。その結果、緊急事態宣言の発令による講師の移動制限（都内からの移動制限）がなくなり、予定した期日に、確実に講座を開催することができた。

**国際理解セミナー**は、外国人や外国生活の経験がある日本人等を講師に招き、私たちが知らない外国の食生活や文化について学び、理解を深めることができた。講座の内容は、食事や文化等、私たちにとって身近な内容のものが多く、楽しいものであった。また、日本人の実体験による話は、とても興味深く、関心が持てるものであった。

**男性のための料理教室**は、電子レンジを使った料理（フルコース）にチャレンジし、簡単にそしてバリエーションにとんだ料理のレシピを学ぶことができた。

**ひらおかハッピータイム（地域交流事業）**は、ひらおか農村公園管理組合の皆さんを講師に招き、地域の小学生から大人が参加して、お正月飾りづくりを行った。参加人数

も多く、また、伝統文化の継承にも繋がるお正月飾りづくりは、とても好評であった。

#### ○課題

**わくわく女性倶楽部**は、若い世代の講座生が少なく、また、新規に参加する講座生も少ない状況である。女性セミナーは、他館でも開催されていることから、テーマ等、内容を工夫しながら参加者を増やしていきたい。

**国際理解セミナー**は、受講生が固定化しつつあるため、新たな受講生を増やしていく必要がある。講座生の募集にあたっては、SNSなど、様々なツールを使って行うとともに、市民が興味を持てるよう、内容についても引き続き検討、工夫をしていきたい。

**男性のための料理教室**は、料理経験の少ない男性を対象に、食事や健康への関心を高めてもらい、日常生活のための自立支援を行うことを目的に実施していきたい。

**ひらおかハッピータイム（地域交流事業）**は、子どもから大人まで、幅広い年代を対象としていること及びコロナ禍であることから、実施にあたっては、内容の選定が難しいところではあるが、今後も新型コロナウイルス感染症の感染状況を見ながら事業を開催していきたい。

### （４）高齢者いきがい促進事業

#### 「ひらおかシニアセミナー」

#### ○主な学習内容

おなか元気教室、園芸講座、映画鑑賞、ヨガ、ウォーキング

#### ○成果

高齢者が健康に、そして生き生きと楽しく過ごしていくための学習講座として、趣味や運動等を中心とした講座を開催した。園芸教室については、春と秋の２回行い、それぞれの季節を楽しみながら学習することができた。また、ウォーキングは、平岡地区内を回ることで、地域の名所を再発見することができ、楽しく学ぶことができた。

#### ○課題

講座生の高齢化及び減少化に加えて、男性の参加が少ない。新たな講座生の確保と男性の参加者が増えていくよう、広報や事業内容を改善していく必要がある。

### （５）地域人材育成講座

#### ○主な学習内容

防災講演会「私の、地域の「防災」検定！～迫る災害に備えて～」、防災セミナー「すぐに役立つ防災の基礎知識～コロナ禍での避難所づくり～」、視察研修（千葉県消防学校、防災研修センター）

#### ○成果

地域人材育成講座「テーマ：みんなでつくる地域の避難所」の初年度として、「防災」に



ついて関心を持ち、基礎的な知識の習得を目的として開催した。講演会やワークショップ・体験活動などを通して、「防災」を地域の身近な課題であると捉えることができ、今後に学習活動につながった。

#### ○課題

公民館を避難所として利用する可能性があると考えられる（災害リスクがある）地域住民等に対しても、参加を促すことで参加者を増やしていきたい。また、避難所運営には若い世代の人達も必要なことから、開催にあたってはSNSなどを活用し、若年層向けの周知にも力を入れていきたい。

### （6）各種行事推進事業

#### 「みんなの展示会」

#### ○主な内容

サークル団体・学校・一般の部作品展示（書道、絵画、写真、切り絵、樹脂粘土、折り紙、竹細工、手芸、凧展示他）、思い出のアルバム（ミニ写真展）、マスコットキャラクターぬり絵コンテスト及び名前投票、主催講座紹介（地域人材育成講座の避難所用パーテーション及び段ボールベッドの展示を含む）

#### ○成果

公民館まつりの代替行事として、「みんなの展示会」を開催した。サークルや学校、地域の方々の作品や活動等の成果を展示・紹介することにより、住民同士の交流を深めることができた。また、市制施行30周年及び平岡公民館開館32周年を記念したマスコットキャラクター関連事業及びミニ写真展を通して、コロナ禍でも地域住民同士が心のつながりや、明るさを感じられるような場を提供することができた。

#### ○課題

サークル等による作品の出品数は多かったものの、地域の人たちによる一般作品については、出品数が少なかった。今後は、地域の皆さんに多く出品していただけるよう、日頃から地域の方々の特技等の発掘に努め、声掛けを行っていきたい。

また、作品の良さを引き立てることができるよう、展示方法を検討し、工夫をしていきたい。

令和3年度平岡公民館事業実施状況報告

令和4年2月28日現在

No.	教育ビジョンの体系	事業名	対象	令和3年度			令和2年度		
				実施期日	回数等	延べ人数	回数等	延べ人数	
1	目標2(1)① 市民への学習機会の提供と情報の発信	ホームページ等による情報の発信	—	随時			随時		
2	目標2(2)① 家庭の教育力向上のための支援	家庭教育推進 家総事業	お子さんと一緒に！健康な心と体づくり講座(幼児家庭教育学級)	2歳から就学前の幼児とその保護者15組	6月～12月	4回 (1回中止)	保護者28人、 幼児34人	5回 ※平川公民館と合同	14人
3			小学校家庭教育学級	平岡小学校児童の保護者20人	7月～12月	3回 (2回中止)	36人	2回 (1回中止)	9人
4	目標2(2)③ 地域の教育力向上	青少年教育推進事業	ひらおか子ども教室	平岡小学校の児童20人各回ごとに募集	7月～2月	4回 (2回中止)	59人	3回 (2回中止)	42人
5		青少年相談員支部活動	平岡支部 青少年相談員 11人	平岡支部 青少年相談員 11人	通年		11人		11人
6		地区住民会議(名幸ヶ丘の会)活動	平岡地区 各種団体 18団体	平岡地区 各種団体 18団体	通年		18団体		18団体
7		ひらおかハッピータイム(世代間交流事業)	平岡地区の高齢者と親子20人	平岡地区の高齢者と親子20人	12月18日	1回	27人	中止	
8	目標2(3)① 誰もが主体的に学ぶことができる社会教育活動の推進	成人教育推進事業	わくわく女性倶楽部	成人女性30人	6月～1月	6回 (2回中止)	112人	5回 (1回中止)	79人
9			国際理解セミナー	市内在住・在勤一般成人30人	8月～12月	5回	68人	4回 (1回中止)	55人
10			男性のための料理教室	成人男性15人	成人男性15人	12月11日	1回	10人	中止
11	目標2(3)② 社会教育関係団体の活動への支援	高齢者いきがい促進事業	ひらおかシニアセミナー(高齢者教室)	60歳以上の方50人	5月～2月	6回 (2回中止)	119人	6回 (2回中止)	119人
12		地域人材育成講座	平岡地区の成人30人	平岡地区の成人30人	6月～11月	3回	24人		
13		各種行事推進事業	平岡公民館文化・スポーツまつり代替行事「みんなの展示会」	市民	11月6日 11月7日	2日間	431人	3日間	420人
14	目標2(3)② 社会教育関係団体の活動への支援	ロビー展示	各種団体 市内小中学校	各種団体 市内小中学校	通年		129点 6団体		51点 5団体
15		子ども会育成会支部活動	単位子ども会 10団体	単位子ども会 10団体	通年		10団体		10団体

No.	教育ビジョン の体系	事業名	対象	令和3年度			令和2年度	
				実施期日	回数等	延べ人数	回数等	延べ人数
16	目標2(3)② 社会教育関係団体の活動への支援	通学合宿	平岡小学校 の児童	7月5日～7月 7日(中止) ※代替事業として12月18日 にお正月飾り講習会を実施	中止  ※代替事業 1回 27人		中止	
17		利用者懇談会	定期利用団体	3月	1回	20団体	1回 (書面会議)	20団体
18	目標2(3)③ 学びを支える地域人材の育成と活動の促進	社会教育推進員活動	社会教育推進員9人	通年		9人		9人
19	成人式		H13.4.2 ～ H14.4.1 に 生まれた平川地区の 新成人	1月9日		91人		69人

※ 令和3年度の実施期日及び回数等、延べ人数には3月以降の開催予定分も含んでおります。

## 令和４年度市民会館・公民館経営方針及び重点施策（案）

### 1 経営方針

市民会館・公民館は、第三期教育ビジョンの基本目標である「未来を創る 心豊かでいきいきとした人づくり」の実現に向け、基本目標を実現するための目標の一つである「人生100年時代に向け、誰もがかがやける学びを支援する」ための取組を行います。

そのため、コロナ禍における市民の学習機会の提供と、つながり支えあう社会教育を推進するため、オンラインの活用等によるこれまでの実践を継続、発展させていきます。

また、サークル活動などの市民の自主的な活動が継続できるよう、相談体制の充実と、サークル活動等の情報を積極的に発信します。

そして、市民の学習活動が、地域の人づくりや地域の絆づくりに貢献できるよう支援するとともに、時代の変化に応じた公民館運営に努めます。

### 2 重点施策

市民会館・公民館は、基本目標を実現するための目標の一つである「人生100年時代に向け、誰もがかがやける学びを支援する」ための施策の方向性を重点施策として生涯学習・社会教育の充実・発展を図ります。

#### **施策の方向性（１）一人ひとりの学びを支える生涯学習の充実**

市民一人ひとりの生涯にわたる主体的な学習活動を支援します。人生100年時代に向け、すべての人の学習意欲に応えられるよう、多様な学習機会の提供や、情報発信などの環境の整備を行います。

#### **施策① 市民への学習機会の提供と情報の発信**

動画配信などのオンラインの活用により、コロナ禍における市民の学習機会を維持していきます。また、生涯学習情報を収集し、広報そでがうらやホームページ、SNS等の活用による積極的な情報発信に努めます。学習相談にもきめ細やかに対応することにより、市民の学習活動を支援し、継続した学習の場を提供します。

#### **施策② 公民館事業への市民の意見の反映**

市民会館・公民館における各種の事業の企画実施や公民館運営の諸課題について、市民の代表である公民館運営審議会の意見を反映した公民館の運営に努めます。

また、アンケート等により市民の学習ニーズや地域課題等を把握し、各館に配置された社会教育推進員とともに主催事業の充実を図ります。

### 施策③ 多様な主体との連携・協働の推進

地域課題や多様で複雑な社会課題などに、より効果的に対応するため、また、「袖ヶ浦市みんなが輝く協働のまちづくり条例」の趣旨に沿い、市民、社会教育推進員、社会教育関係団体や地域団体などの各種団体、NPO、学校、企業等との幅広い連携・協働を図るほか、庁内関係各課との連携・協力を図りながら公民館事業を効果的に実施していきます。

### 施策④ 公民館事業の点検と評価

「第三期袖ヶ浦市教育ビジョン」の施策内容を計画的に進めるために、計画内容に基づき事業を実施し、その事業の点検評価を行います。そして、その結果に基づき計画の実効性と有効性について検証を行い、効果的な事業の推進のために施策の改善につなげていきます。

## 施策の方向性（2）家庭と地域の教育力の向上

保護者が抱える子育ての不安や悩みに対応する、子育てや家庭教育に関する学習の機会を提供します。また、地域全体で心豊かな青少年育成に取り組みます。

### 施策① 家庭の教育力向上のための支援

保護者を対象に子育てのヒントとなる学習機会の提供と、同じ世代の子どもを持つ親同士のつながりを深めることを目的に、子どもの世代に応じた家庭教育学級を開催します。

### 施策② 地域の教育力の向上

心豊かな子どもを育成するため、自然体験や社会体験などの体験活動や、学年の枠を超えた児童の交流の場を地域の方の協力のもと提供します。

また、青少年相談員や地区住民会議等の青少年健全育成活動に取り組む団体への支援を引き続き行うなど、地域住民との連携により地域の教育力の向上に努めます。

## 施策の方向性（3）つながり、支えあう社会教育の充実

人と人とのつながりが希薄となる中、社会教育を基盤とした人づくり、つながりづくりが一層重要であると言われていています。また一方、コロナ禍では、新しい生活様式に対応した公民館事業が求められています。一堂に会することが難しい中、離れていてもつながることができ、多くの市民が学びの成果を地域でいかし、人と人がつながり、支え

あう活動を支援します。

また、庁内連携の一層の推進と社会教育関係団体との連携により、公民館活動の充実を図ります。

### **施策① 誰もが主体的に学ぶことができる社会教育活動の推進**

住民の学習ニーズや地域課題及び生活上の課題を学習テーマに取り上げ、講座をきっかけに受講者による活動が展開できるよう支援します。

そのため、受講者や利用者等の住民の声を大切にし、住民主体の学びの機会を創出します。

### **施策② 社会教育関係団体の活動への支援**

社会教育関係団体の自主性を尊重しながら、活動の継続性や活動の活性化に向けた支援と助言を行います。

### **施策③ 社会教育施設的环境整備**

地域の生涯学習の拠点として、今後も市民が安全・安心に施設を利用できるように、施設・設備の適切な維持管理と定期的な点検を実施し、その結果に基づき改善を図ります。

令和4年度市民会館・公民館主催事業(案)

基本目標	生涯学習の目標	施策の方向性	施策	事業	市民会館	平川公民館	長浦公民館	根形公民館	平岡公民館		
未来を創る 心豊かで いきいきとした人づくり	人生100年時代に向け、誰もがかがやける学びを支援します	(1)一人ひとりの学びを支える生涯学習の充実	①市民への学習機会の提供と情報発信 ②公民館事業への市民の意見の反映 ③多様な主体との連携・協働の推進 ④公民館事業の点検と評価		ホームページやSNS等による情報発信	ホームページやSNS等による情報発信	ホームページやSNS等による情報発信	ホームページやSNS等による情報発信	ホームページやSNS等による情報発信		
					公民館運営審議会 社会教育推進員活動	公民館運営審議会 社会教育推進員活動	公民館運営審議会 社会教育推進員活動	公民館運営審議会 社会教育推進員活動	公民館運営審議会 社会教育推進員活動		
					社会教育推進員活動(再掲)	社会教育推進員活動(再掲)	社会教育推進員活動(再掲)	社会教育推進員活動(再掲)	社会教育推進員活動(再掲)		
					教育委員会の点検と評価	教育委員会の点検と評価	教育委員会の点検と評価	教育委員会の点検と評価	教育委員会の点検と評価		
		(2)家庭と地域の教育力の向上	①家庭の教育力向上のための支援	家庭教育総合推進事業	乳幼児家庭教育学級(平川と合同)	乳幼児家庭教育学級(市会と合同)	子育てパパ応援講座			お子さんと一緒に！健康な心と体づくり講座	
					小学校家庭教育学級 中学校家庭教育学級	小学校家庭教育学級 中学校家庭教育学級	小学校家庭教育学級 中学校家庭教育学級	小学校家庭教育学級 中学校家庭教育学級 ワーキングママ支援講座	小学校家庭教育学級 中学校家庭教育学級		
		(2)地域の教育力の向上	②地域の教育力の向上	青少年教育推進事業	子どもチャレンジ教室 世代間交流	子どもクラブ 書き初め教室	わんぱく教室 長浦ジュニアお琴尺八教室		子ども絵画教室 花まる絵画教室 ねがたオープンキャンパス(ねこまる)	ひらおか子ども教室	
					女性セミナー 男性セミナー 舞台コーディネーター養成講座 単発講座	園芸講座 単発講座 初心者・シニア向けスマートフォン教室	女性セミナー 男性セミナー ながうら遊学塾 お正月飾りづくり講習会	成人絵画教室 地域再発見講座	わくわく女性倶楽部 国際理解セミナー ひらおかハッピータイム		
		(3)つながり、支えあう社会教育の充実	①誰もが主体的に学ぶことができる社会教育活動の推進	高齢者いきがい促進事業 地域人材育成講座 (テーマ)	昭和ふれあい教室 世代間交流(再掲)	高齢者学級(名称検討中) おでかけ高齢者講座	長浦さわやかスクール		根形ニコニコ教室	ひらおかシニアセミナー	
					地域理解	防災	地域デビュー	防災	防災		
					各館で講座を開催するほか、その検証等を行う担当者ミーティングを各館の連携により開催する。						
					市民会館まつり	公民館まつり	公民館まつり	公民館まつり	文化・スポーツまつり		
市民音楽フェスティバル 芸能文化まつり ロビー展示						ねがたファミリーコンサート サークル作品展 ロビー展示	ロビー展示				
②社会教育関係団体の活動への支援			利用者懇談会	利用者懇談会	利用者懇談会	利用者懇談会	利用者懇談会				
			利用者懇談会	利用者懇談会	利用者懇談会	利用者懇談会	利用者懇談会				
③社会教育施設的环境整備	施設管理事業		定期的な安全点検 防火シャッター危害防止装置設置工事	定期的な安全点検 体育館照明設備修繕	定期的な安全点検	定期的な安全点検	定期的な安全点検	定期的な安全点検			
					空調機(多目的ホール)更新工事	多目的ホール吊天井等耐震対策工事					